

1. 施設概要

中原市民館は、市民の自主的な学習・文化活動を支援する生涯学習の場である。ホールの完成などから始まり、さまざまな世代や職業の人を交流し、各種事業を実施し、地域住民の「生き場、居場所づくり」を支援している。

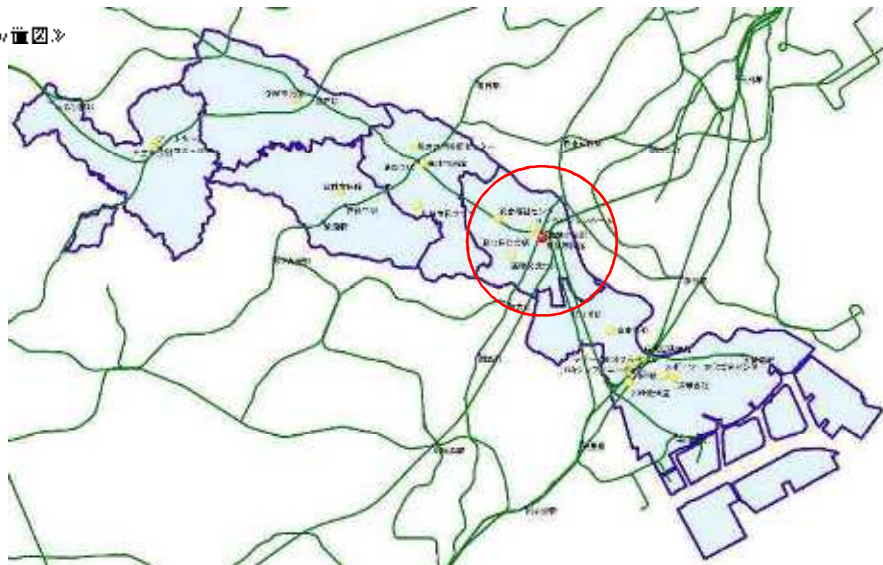
中原市民館は昭和42年開館し、平成11年11月の新時代センターの竣工・開業に伴って、高蔵小学校周辺地区の児童事業の中で、再整備が決定し、平成13年4月新中原市民館の敷地を決定し、平成17年に区所有建物及び敷地を売却し、平成19年現在中原市民館が開館した。

現中原市民館は生涯学習の場としてだけでなく、市民活動やイベントの場として、また市民活動用の各種施設として広く活用し、「色々な利用ができる新市民館」をコンセプトとしており、その特色を下記のとおりまとめています。ダンス、楽器演奏、会議等、多目的利用が可能な空間。

《施設諸元》

- 所在地 : 川崎市中原区新中原3丁目11-00の倉庫1号
（パークシティ高蔵小学校ミッドスクエア1・2階）
- 建築年月日 : 平成21（2009）年3月31日 【築12年】
- 構造 : 鉄骨建物のコンクリート造
- 階層 : 地上3階、地下1階
- 敷地面積 : 4,811㎡
- 建物面積 : 3,394㎡
- ホール面積 : 714㎡（敷地等を含めると1階部分の区域）
- 天井形態 : 区分別
- ホール天井 : 37.5m（スタジアム型天井2.0m程、ホール部分天井は（取付可）1.8m程）【可動】
- 利用時間 : 19時～翌朝5時頃まで
- 休館日 : 毎月第3月曜日及び例年年初（12月31日）～1月3日

《位置図》



ホール



ステージ



2F（平天井）



観客席（可動式座席）

《利用料金》

入場料の有無		単位：円			
		9:00～ 11:30	12:30～ 16:30	17:30～ 21:00	
無料の場合	平日	4,070円	6,050円	10,010円	
	土日祝	4,884円	7,260円	12,012円	
1,000円未満 (平日単価の5割増)	平日	6,105円	9,075円	15,015円	
	土日祝	7,316円	10,890円	18,018円	
3,000円未満 (平日単価の10割増)	平日	8,140円	12,100円	20,020円	
	土日祝	9,768円	14,520円	24,024円	
3,000円以上 (平日単価の20割増)	平日	12,210円	18,150円	30,030円	
	土日祝	14,642円	21,780円	36,036円	

※この料金を了承するお申込みの趣意が認められることが可能

《条例上の位置付付（川崎市市民館条例より）》

公開施設

市民のため、公共的である教育、学術及び文化に関する各種の事業を行うため、市民の代表者向上を図る

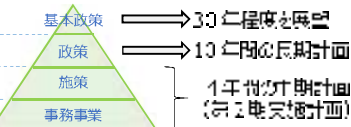
業務内容

- ・幼児、青年、及び成人に関する学級及び講座を開設すること。
- ・討論会、演説会、講習会、実習会、展示会等を開催すること。
- ・図書、記録、模写、資料等を保存し、その利用を図ること。
- ・休会、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- ・互に活動の奨励を有すること。
- ・視覚覚醒器具の活用を行なうこと。
- ・社会教育関係上他の施設を図ること。
- ・施設及び設備を市民の集会所その他の公共的利用に供すること。

《政策的な位置付け（総合計画第2期実施計画より）》

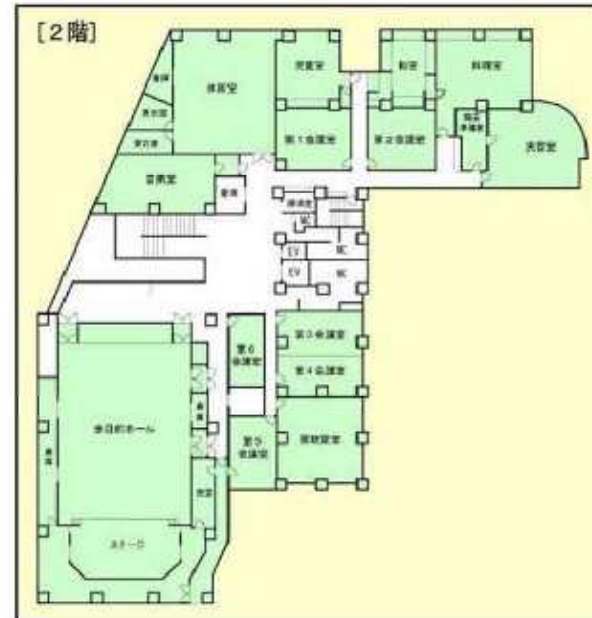
- 市民政策の「子どもを安心に育てることのできるまちづくり」
- 政策の「子どもを育むまちづくりの実現」
- 施策の「子どもを育むための取組」
- 事務事業 社会教育振興事業**

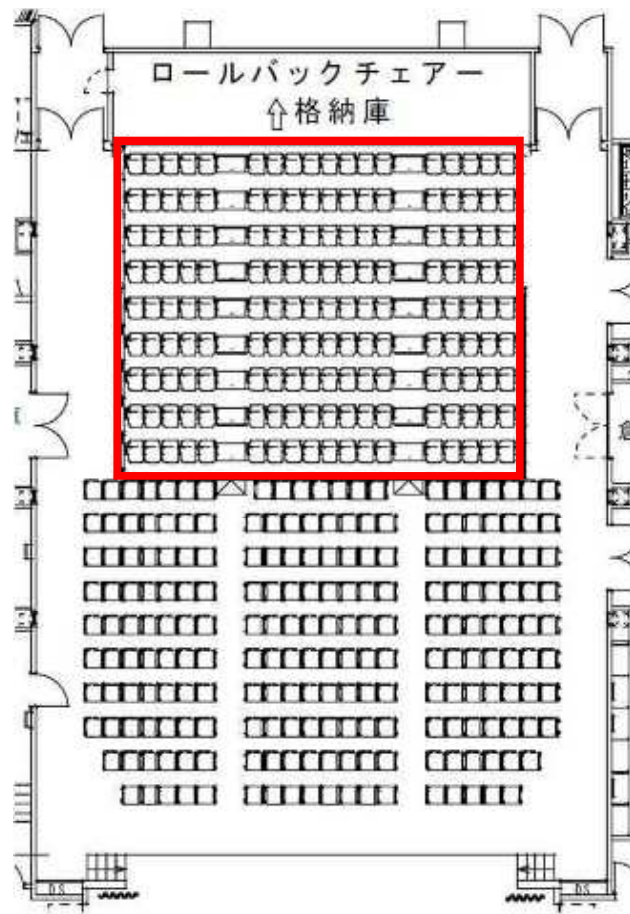
政策体系イメージ



市民の学習や育育の支援、土教教育の担い手育成やボランティアの育成、市民ネットワークづくりなどを行うとともに、学習・成長や地域・人材資源の活用を図り、市民の力による地域の築き上げを推進する方向で取り組む。

2. 施設レイアウト図





3. 利用用途

平成30年度の利用状況の割合は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
ダンス	31コマ	38.2%
楽器演奏・合唱	31コマ	38.2%
会議・研修・講演等	21コマ	26.2%
演劇	17コマ	21.2%
作業療法等の福祉活動	26コマ	32.5%
大規模	19コマ	23.7%
その他	36コマ	45.0%
不明	2コマ	2.5%
保守・点検・清掃等	8コマ	—
利用無し	113コマ	—
	394コマ	

利用率：83.2%

その他内訳	コマ数
日本舞踊	9コマ
芸術式	9コマ
取組会	9コマ
生活発表会	9コマ
文化少年大会	4コマ
詩吟・朗読	4コマ
見本市	4コマ
啓発イベント	3コマ
パソコン	3コマ
分館大会	3コマ
大同式	1コマ
極道劇	1コマ
同慶会	1コマ
朗読	1コマ
	36コマ

小規模練習の演習料（印刷時の印刷料等が別荘）を合算・処理することにより算出
 小ホール部分で提供した多用途、多目的の柔軟なネットワークを構築しているため、多用途が見える。

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数は以下の通り

団体名	回数
団体A（ダンス）	45回
上尾川町警察福祉施設 本館免許課	31回
団体B（合唱）	31回
団体C（音楽）	29回
団体D（ミュージカル）	8回
団体E（オーケストラ）	5回
団体F（オーケストラ）	3回
団体G（幼稚園）	11回
団体H（ダンス）	13回

団体名	コマ数
上尾川町警察福祉施設 本館免許課	49コマ
団体A（ダンス）	45コマ
団体D（ミュージカル）	39コマ
団体B（合唱）	31コマ
団体G（幼稚園）	32コマ
団体C（音楽）	30コマ
児童教育センター	8コマ
団体E（オーケストラ）	15コマ
上尾市民館	11コマ
団体F（オーケストラ）	3コマ

小ホール部分の柔軟なネットワークを構築しているため、多用途の柔軟なネットワークによる実態と異なる場合がある。

5. 今後想定される施設内容（新館局要求分）

※2年と経過であることから、おおよそ規模は同じで行っていない。しかしながら、空間機能も不具合などが発生しており、改修を必要としている。

- 空間機能のローバー化等（対象：施設全体）

6. 収支状況

※新築・改修事業費及び平成18～30年度の収支状況は以下の通り

※施設全体の収支状況は別紙として、面積区分等により各自の表を添付

●新築・改修事業費

単位：千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	490,119		公有財産台帳より
施設全体	0		令和2年度までの改修費
ホール部分	0		令和2年度までの改修費
改修事業費	0		
新築・改修事業費合計	490,119		

●平成30年度収支状況

単位：千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		7,960	
利用料収入		7,960	
収入合計		7,960	
人件費相当額	11,832		
施設管理運営費	15,179		
電気料	2,026		
ガス料	0		
水道料	559		
小規模経費	289		
その他経費	200		消耗品等
共有部管理費等負担金	1,545		
施設維持管理運営費	19,879		
支出合計	31,711		

●平成29年度収支状況

単位：千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		7,183	
利用料収入		7,183	
収入合計		7,183	
人件費相当額	11,833		
施設管理運営費	15,751		
電気料	1,805		
ガス料	0		
水道料	559		
小規模経費	289		
その他経費	281		消耗品等
共有部管理費等負担金	1,545		
施設維持管理運営費	20,331		
支出合計	32,164		

●平成28年度収支状況

単位：千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		7,087	
利用料収入		7,087	
収入合計		7,087	
人件費相当額	11,829		
施設管理運営費	15,430		
電気料	2,076		
ガス料	0		
水道料	508		
小規模経費	81		
その他経費	335		消耗品等
共有部管理費等負担金	1,370		
施設維持管理運営費	19,889		
支出合計	31,717		

7. 今後の方向性（施設所管課ヒアリング結果）

市民課は「公民館」としてホールや多目的ホールを文化活動の場としての機能を持つ都市型施設であり、市民の自発的・主体的な学習活動を支える「社会教育施設」として、地域住民が自ら学ぶ環境や文化活動等を推進する場としてホールは必要であると考えられ、今後のニーズ等が明確になった場合利用を促していく。

1. 施設概要

総合福祉センターは、市民が主体となる地域福祉の推進と市民の福祉の増進を図ることを目的とし、平成18年に「川崎市中原会館」の機能を転換して、「川崎市総合福祉センター」として設置された。センターでは様々な福祉情報を提供するとともに、福祉に携わる関係者のための研修の実施し、また、地域福祉活動などの場として、ホールや会議室の提供を行っている。

総合福祉センターの大ホールは、楽器演奏や企業の会議・講習会に主に利用されているが、演劇の団体に多く利用されているなど、多目的な利用がされている。今後、特定天井改修を予定しており、合わせて舞台機構・照明等の大規模改修も行っていく予定である。



客席①



客席②

《施設諸元》

- 所在地 : 川崎市中原区上小田中6丁目2番5号
- 建築年月日 : 平成2(1990)年3月30日 【築31年】
- 構造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造
- 階層 : 地上7階、地下1階
- 敷地面積 : 2,077㎡
- 建物面積 : 8,419㎡ (駐車場1,294㎡含む)
- ホール面積 : 2,412㎡ (楽屋等含めたホール関連部分の面積)
- ホール定員 : 923席
- 使用時間 : 午前9時から午後9時30分まで
- 休館日 : 年末年始(12月29日～1月3日)、電気設備点検日

《位置図》



舞台①

舞台② (松羽日)

《利用料金》

単位：円

入場料の有無		9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:30
無料の場合	平日	9,600円	13,200円	16,800円
	土日祝	11,520円	15,840円	20,160円
1,000円未満 (平日単価の5割増)	平日	14,400円	19,800円	25,200円
	土日祝	17,280円	23,760円	30,240円
3,000円未満 (平日単価の10割増)	平日	19,200円	26,400円	33,600円
	土日祝	23,040円	31,680円	40,320円
3,000円以上 (平日単価の20割増)	平日	28,800円	39,600円	50,400円
	土日祝	34,560円	47,520円	60,480円

《条例上の位置付け(川崎市総合福祉センター条例より)》

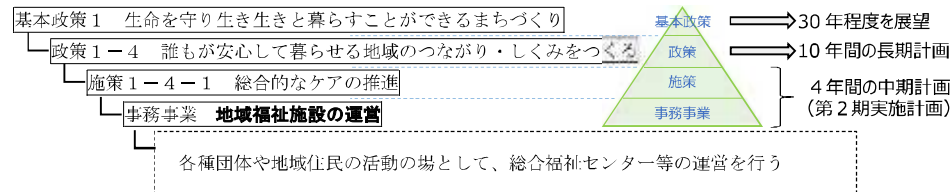
設置目的

福祉に関する情報の収集及び提供等を行うとともに、市民による福祉活動を支援することにより、市民の主体的な活動による地域福祉の推進を図り、もって市民の福祉の増進に寄与する

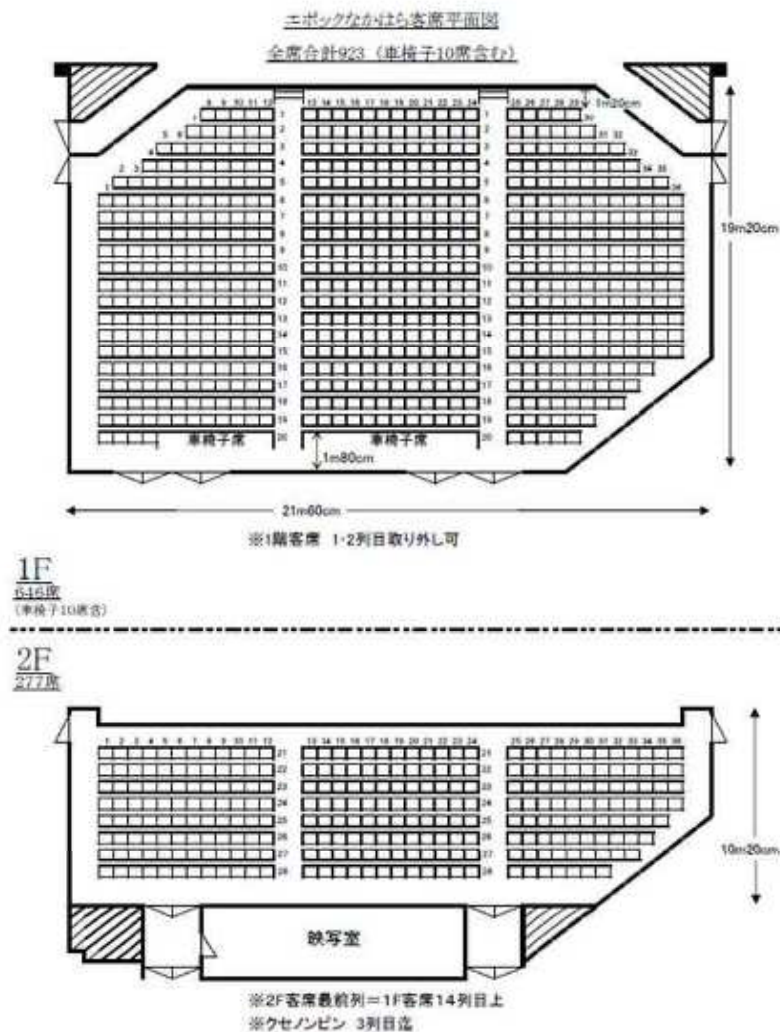
業務内容

- ・福祉に関する情報の収集及び提供並びに相談に関すること。
- ・市民による福祉活動を促進するための講習、講座等の開催に関すること。
- ・施設及び設備(以下「施設等」という。)を利用に供すること。
- ・その他設置目的を達成するために必要な事業に関すること。

《政策的な位置付け(総合計画第2期実施計画より)》



2. 客席平面図



3. 利用用途

平成30年度の利用状況の詳細は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
楽器演奏・合唱	209コマ	25.3%
会議・研修・講演会等	195コマ	23.6%
バレエ	108コマ	13.1%
ダンス	75コマ	9.1%
演劇	65コマ	7.9%
お遊戯会（保育園）	47コマ	5.7%
映画会	25コマ	3.0%
入学式／卒業式等	17コマ	2.1%
詩吟	11コマ	1.3%
カラオケ大会	10コマ	1.2%
太鼓	6コマ	0.7%
表彰式	5コマ	0.6%
懇親会	1コマ	0.1%
その他	47コマ	5.7%
不明	4コマ	0.5%
保守・点検・清掃等	66コマ	—
利用無し	204コマ	—

1095コマ

その他内訳	コマ数
寒修行研修	9コマ
寄席	7コマ
落語会	7コマ
マジックショー	6コマ
廃棄物減量指導員委嘱式	4コマ
戦没者追悼式	4コマ
英語学童発表会	3コマ
ダブルダッチ	3コマ
演武会（合気道）	2コマ
模擬試験	2コマ
	17コマ

利用率：80.2%

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

※第1回部会で提示した数値は、予約時のふれあいネットデータを基にしているため、数値が異なる。

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数上位の団体は以下の通り

団体名	回数
団体A（演劇）	12回
団体B	11回
団体C（幼稚園）	7回
健康福祉局地域包括ケア推進室地域福祉担当	6回
団体D（バレエ）	6回
団体E（上映）	6回
団体F（幼稚園）	5回
団体G（バレエ）	5回
団体H（合唱）	5回
団体I	5回
団体J（ピアノ）	5回

団体名	コマ数
団体A（演劇）	36コマ
団体C（幼稚園）	20コマ
団体J（ピアノ）	13コマ
健康福祉局地域包括ケア推進室地域福祉担当	11コマ
団体G（バレエ）	11コマ
団体B	11コマ
団体E（上映）	10コマ
団体I	10コマ

※予約時のふれあいネットデータより算出（予約後のキャンセル等により実態と異なる場合がある）

5. これまでの主な修繕内容

【主な修繕内容】

- 平成27（2015）年度 : 空調設備改修 (対象：施設全体)
- 舞台音響設備改修 (対象：ホール)
- 平成30（2018）年度 : 自火報・非常放送設備改修 (対象：施設全体)
- 令和1（2019）年度 : エレベーター改修 (対象：施設全体)
- 自家発電オーバーホール (対象：施設全体)
- 受変電設備改修 (対象：施設全体)

6. 今後想定される修繕内容（所管局要求分）

- 特定天井改修 (対象：ホール)
- 舞台機構・照明・音響・迫・床・椅子等改修 (対象：ホール)
- 屋根・外壁改修 (対象：施設全体)

※舞台床と迫の段差ができていいるなど、各設備に老朽化が進んでいる。特定天井対策工事を実施予定であり、合わせて舞台機構・照明・音響設備等の改修も実施予定。

7. 収支状況

新築・改修事業費及び平成28～30年度の収支状況は以下の通り

＜施設全体の収支状況を整理した上で、面積按分等により算出した参考値＞

●新築・改修事業費

単位：千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	882,767		公有財産台帳より
施設全体	160,476		令和2年度までの改修費
ホール部分	55,660		令和2年度までの改修費
改修事業費	216,136		
新築・改修事業費合計	1,098,903		

●平成30年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	44,237		
支出合計	44,237		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		44,237	
ホール利用料		29,592	
その他収入		554	
収入合計		74,384	
人件費相当額	9,206		
施設管理運営費	29,429		
電気料	5,970		
ガス料	1,498		
水道料	1,528		
小破修繕料	2,034		
その他経費	4,462		消耗品ほか
施設維持管理運営費	44,922		
事業費	2,420		情報バンク事業ほか
支出合計	56,548		

●平成 29 年度収支状況

・市としての収支

単位:千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	44,238		
支出合計	44,238		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		44,238	
ホール利用料		28,011	
その他収入		540	自販機ほか
収入合計		72,789	
人件費相当額	9,178		
施設管理運営費	27,516		
電気料	4,963		
ガス料	1,341		
水道料	1,280		
小破修繕料	2,045		
その他経費	3,003		消耗品ほか
施設維持管理運営費	40,147		
事業費	2,469		情報バンク事業ほか
支出合計	51,794		

●平成 28 年度収支状況

・市としての収支

単位:千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	44,236		
支出合計	44,236		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		44,236	
ホール利用料		28,652	
その他収入		540	
収入合計		73,428	
人件費相当額	9,276		
施設管理運営費	27,513		
電気料	4,591		
ガス料	1,256		
水道料	1,152		
小破修繕料	2,056		
その他経費	2,502		消耗品ほか
施設維持管理運営費	39,068		
事業費	2,699		情報バンク事業ほか
支出合計	51,043		

8. 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

福祉の推進に資する事業やイベントを実施する場が必要であると考えており、ホールについては、福祉に係る使われ方をしていない場合もあるが、地域福祉の推進に資するイベント等を含め、利用を促していくことが望ましいと考えている。

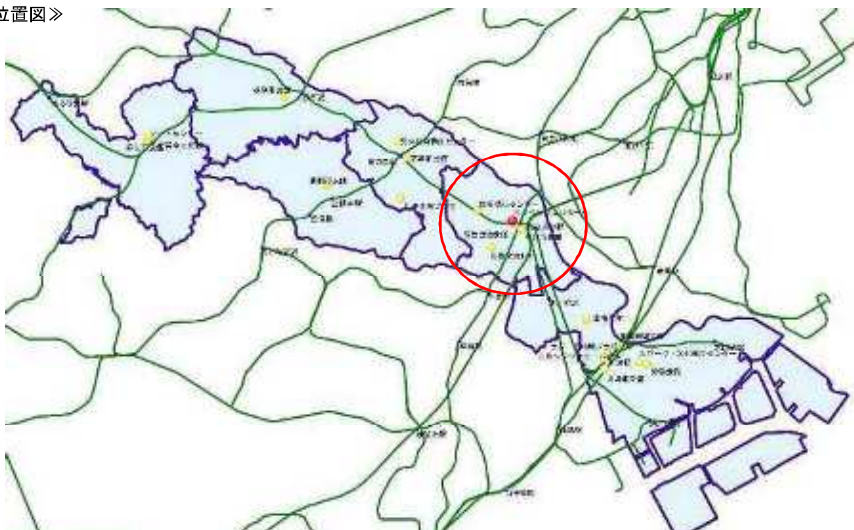
1. 施設概要

川崎市コンベンションホールは企業や研究者の交流機会を創出し、ビジネスマッチングなどの多彩な連携を生み出すためのコンベンション施設として、高層マンションの一部にオープンした。ホールと会議室を有する施設であり、ホールは3区画にすることができ、規模に応じた柔軟な利用が可能となっている。

《施設諸元》

- 所在地 : 川崎市中原区小杉町2丁目276番地1
パークシティ武蔵小杉 ザ ガーデン タワーズイースト2階
- 建築年月日 : 平成29(2017)年12月7日 【築4年】
- 構造 : 鉄筋コンクリート造
- 階層 : 地上2階、地下1階
- 敷地面積 : 573㎡
- 建物面積 : 3,070㎡
- ホール面積 : 2,085㎡ (楽屋等を含めたホール関連部分の面積)
- 所有形態 : 区分所有
- ホール定員 : 最大960席 (シアター形式の場合 (椅子のみの設置))
- 使用時間 : 午前9時から午後10時まで
- 休館日 : 年末年始 (12月29日～1月3日)

《位置図》



内観①



内観②



ホワイエ

《利用料金》

単位:円

利用料金		9:00~12:00	13:00~17:00	18:00~22:00
一般利用	ホール区画無し	251,310円	335,080円	335,080円
	ホールA	94,370円	125,820円	125,820円
	ホールB	78,470円	104,630円	104,630円
	ホールC	78,470円	104,630円	104,630円
市内企業 又は研究機関	ホール区画無し	226,170円	301,550円	301,550円
	ホールA	84,930円	113,230円	113,230円
	ホールB	70,620円	94,160円	94,160円
	ホールC	70,620円	94,160円	94,160円

《条例上の位置付け(川崎市コンベンションホール条例より)》

設置目的

企業、研究機関、市民その他の多様な主体が交流する機会を創出することにより、これらの者間における連携を促進し、もって地域経済の活性化その他の地域の活力の向上に寄与する。

業務内容

- ・コンベンション(会議、討論会、講習会、展示会その他これらに類する集会)等のための施設及び設備を利用に供すること。
- ・施設等を利用する者に対するコンベンションの開催に係る支援を行うこと。
- ・コンベンションの誘致に関すること。

《政策的な位置付け(総合計画第2期実施計画より)》

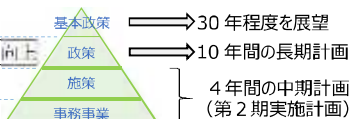
基本政策4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

政策4-2 新たな産業の創出と革新的な技術による生活利便性の向上

施策4-2-3 科学技術を活かした研究開発基盤の強化

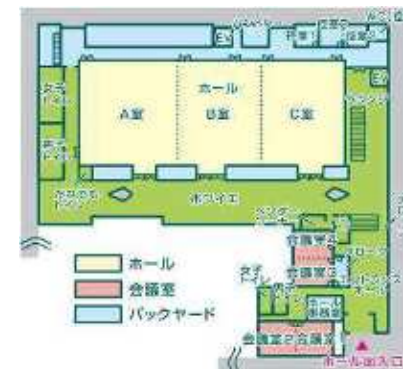
事務事業 川崎市コンベンションホール管理運営事業

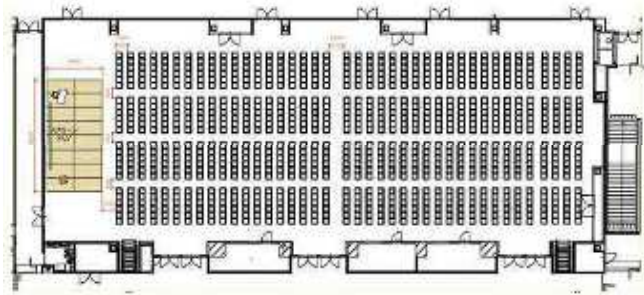
政策体系イメージ



オープンイノベーションの交流拠点として小杉町二丁目地区において整備される、川崎市コンベンションホールの管理運営を行います。

2. 施設レイアウト図





3. 利用用途

平成30年度の利用状況の詳細は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
会議・研修・講演会等	234コマ	100%
保守・点検・清掃等	18コマ	—
利用無し	795コマ	—
	1047コマ	

利用率：22.7%

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

※展示即売会、模試、懇親会等も含む

※片付け・準備等の時間確保のため、利用者入替時の同一区画の利用は2コマ程度空けている

※平成30年4月17日より貸館開始

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数上位の団体は以下の通り

団体名	コマ数
団体A（企業）	18コマ
団体B（企業）	17コマ
団体C（企業）	12コマ
団体D（企業）	10コマ
団体E（企業）	7コマ
団体F（企業）	7コマ
団体G（企業）	6コマ
団体H（企業）	6コマ
団体I（企業）	6コマ

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

5. これまでの主な修繕内容及び今後想定される修繕内容

特に無し

6. 収支状況（ホール関連部分）

新築・改修事業費及び平成30年度の収支状況は以下の通り。

＜施設全体の収支状況を整理した上で、面積按分等により算出した参考値＞

●新築・改修事業費

単位：千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	814,103		公有財産台帳より
改修事業費	0		令和2年度までの改修費
新築・改修事業費合計	814,103		

●平成30年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	0	0	
負担金（修繕積立・管理）	7,680	0	
納付金	0	6,985	
支出合計	7,680	6,985	

・施設管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		0	
ホール利用料		46,900	
その他		16,921	会場設営、ケータリング等
収入合計		63,821	
人件費相当額	13,624		
施設管理運営費	20,545		
電気料	5,367		
ガス料	0		
水道料	73		
小破修繕料	24		
その他経費	7,526		
施設維持管理運営費	33,535		
納付金	6,985		
支出合計	54,144		

7. 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

コンベンションホールは、企業等の交流やMICEの開催を想定した施設であり、オープンインベーションの創出や観光産業を含めた川崎市の発展に向けて核となる施設は必要である。今後も新たな利用団体の掘り起こしを行いながら、引き続き川崎市の発展に資する取り組みを継続していきたい。

1. 施設概要

川崎市民プラザは指定都市記念施設として昭和54年に開館し、財団法人川崎市指定都市記念事業公社所有施設として運営されてきたが、公社が平成23年度末で解散したことにより、平成24年度に市が寄付を受けた。

屋内広場、ふるさとコーナー、ギャラリー、セミナールーム、大広間、囲碁・将棋室、体育館、トレーニングルーム、茶室、日本庭園、レストラン、浴場などが揃った用途が多様な施設である。客席数489席を誇るホール「ふるさと劇場」では、音楽、演劇などに利用できる中規模ホールとして、さまざまな催し物が行われている。

竣工から42年が経過し、修繕は行ってきているが、著しく老朽化した設備が多くある状況である。



客席①

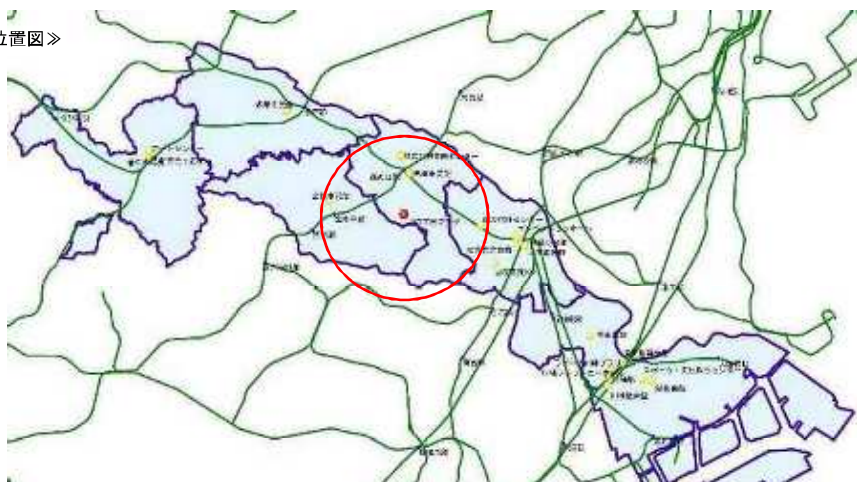


客席②

《施設諸元》

- 所在地 : 川崎市高津区新作1-19-1
- 建築年月日 : 昭和54(1979)年1月31日 【築42年】
- 構造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造
- 階層 : 地上4階、地下1階
- 敷地面積 : 30,633㎡
- 建物面積 : 12,504㎡
- ホール面積 : 1,446㎡ (楽屋等を含めたホール関連部分の面積)
- ホール定員 : 489席
- 使用時間 : 午前9時から午後9時30分まで
- 休館日 : 年末年始(12月29日～1月3日)ほか

《位置図》



舞台①



舞台②



舞台の裏側(屋内広場)

《利用料金》

単位：円

入場料の有無		9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:30
無料の場合	平日	9,500円	14,300円	18,100円
	土日祝	11,400円	17,160円	21,720円
1,000円未満 (平日単価の5割増)	平日	14,250円	21,450円	27,150円
	土日祝	17,100円	25,740円	32,580円
3,000円未満 (平日単価の10割増)	平日	19,000円	28,600円	36,200円
	土日祝	22,800円	34,320円	43,440円
3,000円以上 (平日単価の20割増)	平日	28,500円	42,900円	54,300円
	土日祝	34,200円	51,480円	65,160円

《条例上の位置付け(川崎市民プラザ条例より)》

設置目的

市民の健康の増進及び文化の振興を図るとともに、市民相互の交流の機会を提供し、もって市民の福祉の向上に寄与する

業務内容

- ・健康の増進に資する教室の開催に関すること。
- ・文化及び教養に関する講座の開催に関すること。
- ・市民相互の交流を促進するための行事等の開催に関すること。
- ・施設及び設備(以下「施設等」という。)を利用に供すること。
- ・その他設置目的を達成するために必要な事業に関すること。

《政策的な位置付け(総合計画第2期実施計画より)》

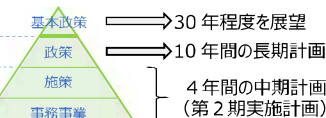
基本政策4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

政策4-8 スポーツ・文化芸術を振興する

施策4-8-2 市民の文化芸術活動の振興

事務事業 市民プラザ管理運営事業

政策体系イメージ



文化・教養に関する講座や健康増進のための教室等の開催、市民相互の交流機会の促進に向けた「市民プラザ」の運営。

2. 施設レイアウト図



3. 利用用途

平成30年度の利用状況の詳細は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
楽器演奏・合唱	101 コマ	73.7%
バレエ	13 コマ	9.5%
ダンス	7 コマ	5.1%
健康診断	6 コマ	4.4%
日本舞踊	3 コマ	2.2%
撮影会	3 コマ	2.2%
会議・研修・講演会等	2 コマ	1.5%
不明	2 コマ	1.5%
保守・点検・清掃等	294 コマ	—
利用無し	406 コマ	—
	837 コマ	

利用率：25.2%

※10/1～12/28 はふるさと劇場休館（舞台機構改修のため）。また、H30.4.1～H31.1.3 までのデータ。

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

※第1回部会で提示した数値は、予約時のふれあいネットデータを基にしているため、数値が異なる。

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数上位の団体は以下の通り

団体名	回数	団体名	コマ数
団体A (合奏団)	9回	団体B (楽器店)	19コマ
団体B (楽器店)	7回	団体A (合奏団)	18コマ
団体C (音楽教室)	6回	団体C (音楽教室)	16コマ
団体D (健康管理)	4回	団体E (楽器店)	9コマ
団体E (楽器店)	3回	団体D (健康管理)	8コマ
団体F (学校吹奏楽部)	3回	団体F (学校吹奏楽部)	8コマ
団体G (オーケストラ)	3回	団体G (オーケストラ)	7コマ
団体H (ピアノ)	3回		

※10/1～12/28 はふるさと劇場休館（舞台機構改修のため）。また、H30.4.1～H31.1.3までのデータ。

※予約時のふれあいネットデータより算出（予約後のキャンセル等により実態と異なる場合がある）

5. これまでの主な修繕内容

【主な修繕内容】

- 平成26（2014）年度：ボイラー改修（対象：施設全体）
エレベーター改修（対象：施設全体）
- 平成28（2016）年度：外壁部分改修（対象：施設全体）
自動火災報知設備改修（対象：施設全体）
- 平成29（2017）年度：自動制御設備改修（対象：施設全体）
- 平成30（2018）年度：舞台機構改修（対象：ホール）
空調調和機一部改修（対象：施設全体）
- 令和1（2019）年度：空調設備オーバーホール（対象：施設全体）
自家発電オーバーホール（対象：施設全体）
- 令和2（2020）年度：屋上防水改修（対象：施設全体）

6. 今後想定される修繕内容（所管局要求分）

- ガス配管設備改修（対象：施設全体）※現在工事中
 - 受変電設備改修（対象：施設全体）※現在工事中
- ※築42年経過し、受変電設備では法定点検で指摘が入るなど、各設備で老朽化が進んでいる。特定天井改修もあり、施設利用に影響無きよう、適切に対応していく。

7. 収支状況

新築・改修事業費及び平成28～30年度の収支状況は以下の通り

<施設全体の収支状況を整理した上で、面積按分等により算出した参考値>

●新築・改修事業費

単位：千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	0		寄付(平成24年)
施設全体	76,522		令和2年度までの改修費
ホール部分	50,446		令和2年度までの改修費
改修事業費	126,968		
新築・改修事業費合計	126,968		

●平成30年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	31,777		
支出合計	31,777		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		31,777	
ホール利用料		7,179	H30.10～12 ホール休館
事業収入		3,065	
その他		484	
収入合計		42,505	
人件費相当額	14,579		
施設管理運営費	11,522		
電気料	3,412		
ガス料	3,986		
水道料	4,469		
小破修繕料	1,312		
その他経費	2,803		
施設維持管理運営費	27,504		
事業費	1,583		
支出合計	43,667		

●平成 29 年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	31,777		
支出合計	31,777		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		31,777	
ホール利用料		10,430	
事業収入		3,216	
その他		490	
収入合計		45,913	
人件費相当額	15,177		
施設管理運営費	11,522		
電気料	3,405		
ガス料	3,559		
水道料	4,726		
小破修繕料	1,131		
その他経費	2,841		消耗品ほか
施設維持管理運営費	27,184		
事業費	1,675		健康増進事業ほか
支出合計	44,036		

●平成 28 年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	31,777		
支出合計	31,777		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		31,777	
ホール利用料		10,258	
事業収入		3,150	
その他		505	
収入合計		45,690	
人件費相当額	14,936		
施設管理運営費	11,522		
電気料	3,016		
ガス料	3,279		
水道料	5,237		
小破修繕料	1,167		
その他経費	2,969		消耗品ほか
施設維持管理運営費	27,190		
事業費	1,695		健康増進事業ほか
支出合計	43,821		

8. 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

市民の文化振興を推進するための場は必要であると考えている。しかしながら、ホール等の利用率が低く、老朽化も進んでいることから、施設自体の方向性を検討する時期に来ていると考えている。

1. 施設概要

高津市民館は、市民の自主的な学習・文化活動を支援する生涯学習の場である。ホールの完成後などの貸し出しの際、さまざまな世代や職業の人を交流し、さまざまな事業を実施して、玉蓮住民の「生き場、居る場づくり」を支援している。

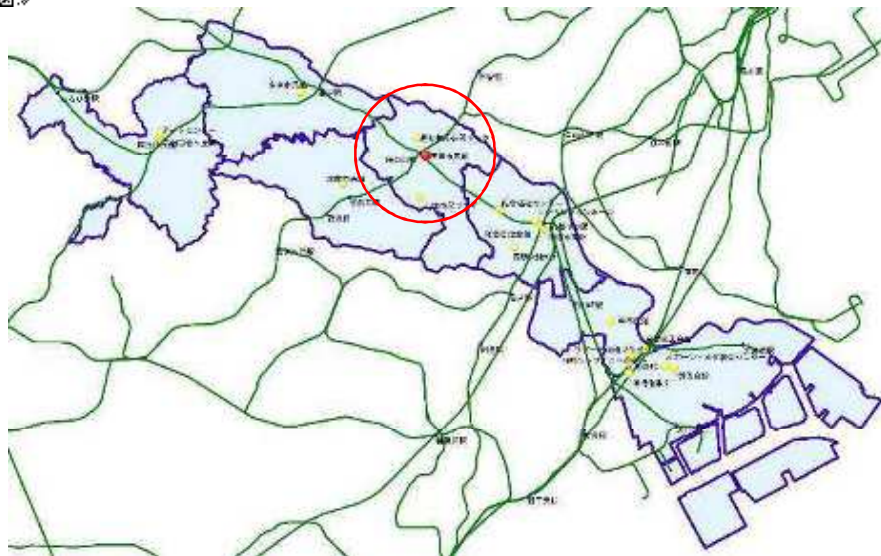
ホールの現在地（旧高津市男女共同参画センター）が高津市民館であったが、津市伊北・津田市与野町岡部車庫1階の高津市民館が機能移転「1フロア2」の11階～13階部分に区所有となり、平成24年10月から現在の高津市民館となっている。

なお、高津市民館の本ホールは、大音量の電子楽器や様々な音響効果を生み出す大規模、但本鼓、ドラムセット、ピアノなど、打楽器等の演奏を行う場合、運動音の発音を行う、階下を響きわたるような構造となっている。これらの楽器を使用する場合、大ホール階下にある部室（第1会議室、第2会議室、視聴覚室）を同時に予約することが可能となっている。

《施設諸元》

- 所在地 : 津市高津大塚1丁目1番1
- 竣工年月日 : 平成9年(1997年)9月12日【第3期】
- 構造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造
- 階数 : 地上13階、地下2階
- 敷地面積 : 1,311.8㎡
- 建物面積 : 8,347.4㎡
- ホール面積 : 1,341.0㎡ (床面積を含めホール関連部分の面積)
- 所有形態 : 区分所有
- ホール定員 : 300名(座席椅子を詰めた場合(700名程度が標準))【可動】
- 利用時間 : 午前9時から午後9時まで
- 休館日 : 毎月第3月曜日及び01年末年始(12月31日～1月31日)
- その他 : 舞台床面・客席床面及び座席椅子の一部が可動式となっており、座席の向きや座席の形状を変えられることが可能

《位置図》



舞台区



舞台区



客席(全体)



客席(可動式)

《利用料金》

入場料の有無	単位:円			
		9:00~ 11:30	12:30~ 16:30	17:30~ 21:00
無料の場合	平日	7,300円	9,300円	16,720円
	土日祝	8,712円	11,013円	20,034円
1,000円未満 (平日単価の5割増)	平日	10,400円	13,020円	25,040円
	土日祝	12,444円	15,753円	30,484円
3,000円未満 (平日単価の10割増)	平日	14,800円	18,360円	34,400円
	土日祝	17,976円	22,233円	41,784円
3,000円以上 (平日単価の20割増)	平日	21,780円	27,040円	50,160円
	土日祝	26,044円	32,073円	60,804円
展示販売 (平日単価の90割増)	平日	73,300円	96,300円	187,000円
	土日祝	74,002円	98,233円	190,544円

※この料金を了承した上で当日の想定の異なることが可能

《条例上の位置付け(高津市民館条例より)》

《設置目的》

市民のたより、実用性即ち教育、学術及び文化に関する各々の事業を行うため、市民の教養の向上を図る

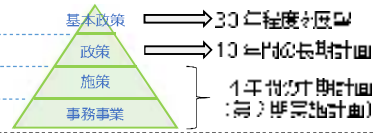
《業務内容》

- ・幼児、青少年等の個人に関する学術及び講座を開講すること
- ・読書会、講演会、講習会、講習会、講義会等を開催すること
- ・図書、記録、抄本、資料等を置く、その利用を図ること
- ・座席、コンクリート・タイル等に因る雑費を関係すること
- ・文化活動の奨励を行うこと
- ・視聴覚器・器具の貸出しを行うこと
- ・社会教育関係且座席の作成を図ること
- ・公民館の運営を市民の協力を得て他の公共的利用に活用すること

＜政策的な位置付け（総合計画第2期実施計画より）＞

基本計画
 基本計画の下の部分に位置するものであることと見做す
 基本計画の下の部分に位置するものであることと見做す
 基本計画の下の部分に位置するものであることと見做す
 事務事業 社会教育振興事業

政策体系イメージ



市民の学習活動の支援、社会教育を担う民間ボランティアの育成、市民のネットワークづくりなどを行う。また、学習・成長や地域づくり支援の活動に対し、市民の力による地域の豊かさを創り出す方向を図る。

2. 施設レイアウト図

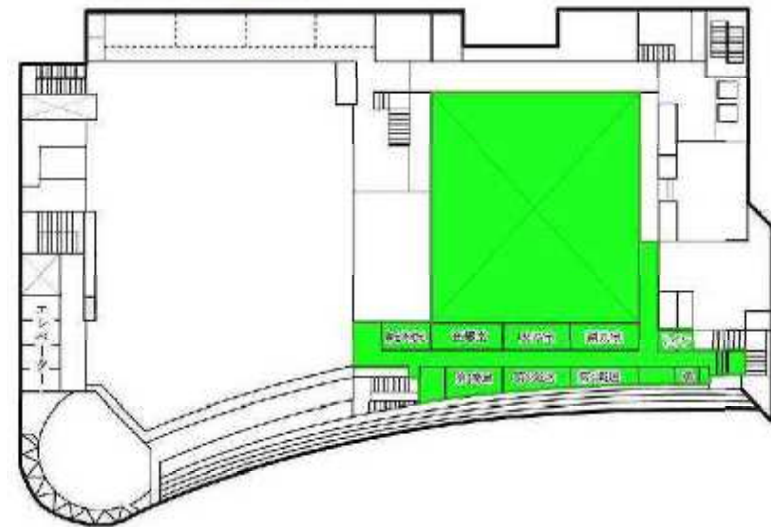
11階平面図



12階平面図



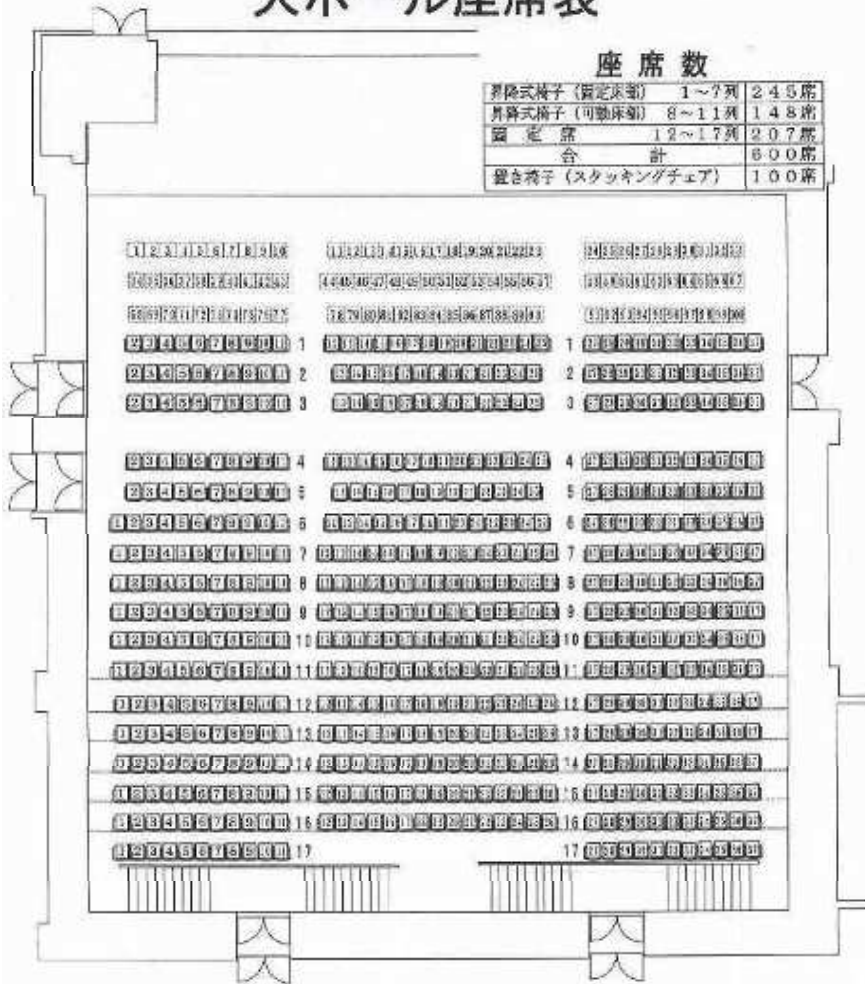
別図3 川崎市高津市民館13階平面図
 (舞台関連施設は緑色枠内)



大ホール座席表

座席数

昇降式椅子(固定座席)	1~7列	245席
昇降式椅子(可動座席)	8~11列	148席
固定席	12~17列	207席
合計		600席
畳台椅子(スタンディングチェア)		100席



3. 利用用途

平成30年度の利用状況の割合は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
楽器演奏・合唱	293コマ	48.8%
会議・研修・講演会等	211コマ	35.2%
展示会	21コマ	3.5%
取組会	23コマ	3.8%
演劇	16コマ	2.7%
音楽・ダンス等の観合イベント	11コマ	1.8%
その他	12コマ	2.0%
不明	30コマ	5.0%
保守・点検・清掃等	87コマ	—
利用無し	296コマ	—
	1000コマ	

利用率：70.7%

その他内訳	コマ数
進学相談会	8コマ
学芸大会	1コマ
バレー	2コマ
ダンス	2コマ
上の子踊	2コマ
民謡	2コマ
福岡県器楽の会演奏会	6コマ
民俗芸能発表会	1コマ
敬老イベント	2コマ
音楽祭の音楽会イベント	1コマ
子育てイベント	1コマ
雑談	1コマ
音楽会	2コマ
大衆	2コマ
歌・大衆歌	2コマ
抱負のコンサート	2コマ
ママ会バレー開会式	1コマ
	48コマ

小ホール等の収容力(申請時の定員等が記載)を分析・整理するコマより算出

※第1回部分の提示した数値は、申請時の収容力(定員)を基に算出しているため、数値が異なる。

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数上位の団体は以下の通り

団体名	回数
厚労省 働学社(神奈川県)	48回
神奈川県音楽院(音楽系)	24回
教育委員会事務局(総合センター)	10回
宮崎市民館	8回
宮崎県文化協会	4回
民生会(上田会)	3回
宮崎県文化振興協会	3回
宮崎市社会福祉協議会	3回

団体名	コマ数
神奈川県警察音楽隊(音楽系)	48コマ
厚労省 働学社(宮崎県)	46コマ
教育委員会事務局(総合センター)	20コマ
宮崎市民館	18コマ
宮崎県民謡協会(民謡)	6コマ
宮崎県文化協会	16コマ
民生会(音楽発表会)	2コマ
民生会(上田会)	2コマ

小ホール等の収容力(定員)より算出(定員後の定員(定員)を基に算出)による実数と異なる場合がある。

5. これまでの主な修繕内容

【主な修繕内容】

- ▶ 平成28（2014）年度：電話設備取替（対象：施設全体）
- ▶ 平成30（2018）年度：空調設備（冷媒等）オーバーホール（対象：施設全体）
- ▶ 平成31（2019）年度：パソコン・プリンター更新（対象：施設全体）
 谷設備更新（対象：施設全体）
 舞音器交換（対象：ホール）
- ▶ 令和1（2019）年度：空調設備（冷媒等）オーバーホール（対象：施設全体）

6. 今後想定される修繕内容（所管局要求分）

- ▶ 舞音器の更新（対象：ホール）
 - ▶ 舞音照明・音響・音字取替（対象：ホール）※現在工事中
 - ▶ 前年度パソコン・プリンター更新（対象：施設全体）※現在工事中
- 心算上の概算。複雑な財源調出を前提とした場合に電気料金や空調機器の効率が良くなる事例が期待されている。一方で、空調機器の劣化が著しいため機能更新を行う必要があるが、舞音器の上乗修繕が行われている現状を鑑み、間接換作りの交換を実施している。

7. 収支状況

※案・収支事業費及び平成28～30年度の収支状況は以下の通り

※施設全体の収支状況を整理した上で、面積比率等により各自の参考値とす

●新築・改修事業費 単位:千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	807,750		公有財産台帳より
施設全体	169,800		令和2年度までの改修費
ホール部分	63,741		令和2年度までの改修費
改修平準費	26,634		
新築・改修事業費合計	834,384		

●平成30年度収支状況 単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		12,953	
利用料収入		12,953	
収入合計		12,953	
人件費相当額	10,247		
施設管理運営費	13,605		
電気料	2,184		負担金として支出
ガス料	781		負担金として支出含む
水道料	742		負担金として支出
小修繕経料	707		
その他経費	348		消耗品等
共有部管理費等負担金	11,487		
施設維持管理運営費	30,187		
支出合計	40,434		

●平成29年度収支状況 単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		11,800	
利用料収入		11,800	
収入合計		11,800	
人件費相当額	11,591		
施設管理運営費	13,602		
電気料	2,482		負担金として支出
ガス料	717		負担金として支出含む
水道料	743		負担金として支出
小修繕経料	735		
その他経費	358		消耗品等
共有部管理費等負担金	11,508		
施設維持管理運営費	30,145		
支出合計	41,736		

●平成28年度収支状況 単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		11,870	
利用料収入		11,870	
収入合計		11,870	
人件費相当額	10,251		
施設管理運営費	13,618		
電気料	2,305		負担金として支出
ガス料	662		負担金として支出含む
水道料	752		負担金として支出
小修繕経料	194		
その他経費	461		消耗品等
共有部管理費等負担金	11,280		
施設維持管理運営費	29,273		
支出合計	39,524		

8. 今後の方向性（施設所管課ヒアリング結果）

市民福祉「市民館（大ホール）改修事業」を備忘した上で、施設全体の修繕計画は都市型試案であり、市民の目的・目的のな学習活動を支援している「社会教育施設」として、施設生員が自主的な成長や文化活動を実施する場としてホールは必要であると考えており、今後も、大ホール等の施設が利用を促している。

1. 施設概要

男女共同参画センターは、男女が共に自立して、平等で、快適に生きられる「男女平等のまち・かわさき」をめざして川崎市における男女平等推進のための基本的な考え方や総合的な仕組みを定めた「男女平等かわさき条例」(2001(平成13)年10月施行)第16条に基づく男女平等施策を推進するための拠点施設である。

会議室、ホール等の施設貸出のほか、調査活動、男女それぞれの生き方講座や悩み相談、女性の就労支援(起業、職場復帰、再就職)、男性の家事・育児・地域活動への支援、コンサートやおまつり等、通年でイベント・講座を開催している。

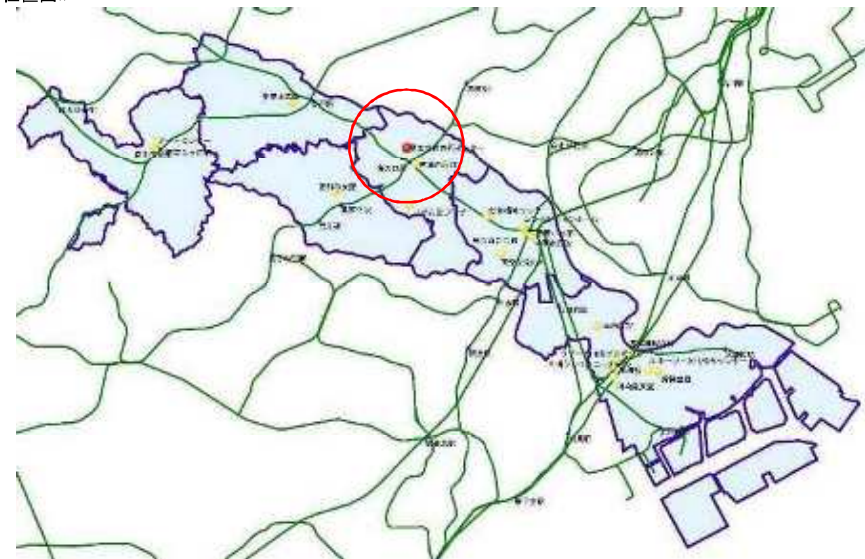
実施しているセミナー・イベントの例

平成9年9月までは、現建物は高津市民館であったが、溝ノ口駅北口地区市街地再開発事業に伴い高津市民館が機能移転(『ノクティ2』の11階~13階部分を区分所有)し、その後、平成11(1999)年9月から現施設が男女共同参画センターとなっている。

《施設諸元》

所在地	: 川崎市高津区溝ノ口2-20-1
建築年月	: 昭和49(1974)年3月31日(男女共同参画センターとしては、平成11年9月以降)【築47年】
構造	: 鉄筋コンクリート造
階層	: 地上4階
敷地面積	: 2,874㎡
建物面積	: 3,337㎡
ホール面積	: 1,314㎡(楽屋等含めたホール関連部分の面積)
所有形態	: 所有
ホール定員	: 850席
貸室時間	: 午前9時から午後9時30分まで(開館は8時30分より)
休館日	: 偶数月の第3火曜日及び年末年始(12月29日~1月3日)

《位置図》



舞台①



舞台②



客席（全体）



客席（前方側）



客席（後方側）

《利用料金》

単位：円

入場料の有無		9:00~ 12:00	13:00~ 17:00	18:00~ 21:30
ホール（本番の場合）	平日	6,600円	7,400円	12,700円
	土日祝	7,920円	8,880円	15,240円
ホール（練習の場合）	平日	3,300円	3,700円	6,350円
	土日祝	3,960円	4,440円	7,620円

《条例上の位置付け（川崎市男女共同参画センター条例より）》

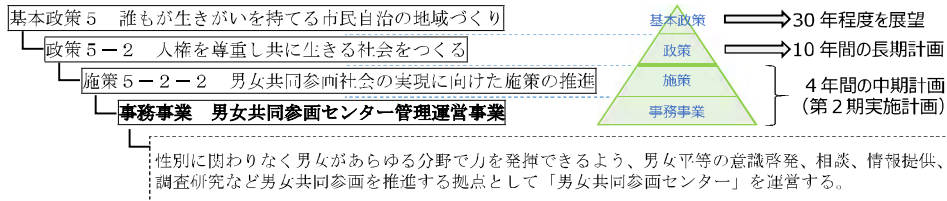
設置目的

- 男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野における活動に参画する男女共同参画社会の形成に寄与するため
- 青少年の主体的な舞台芸術活動の促進に寄与するため

業務内容

- ・調査及び研究に関すること。
- ・相談に関すること。
- ・情報の収集及び提供に関すること。
- ・研修会、講演会等の開催に関すること。
- ・市民の学習、研修及び交流の活動の支援に関すること。
- ・施設及び設備（以下「施設等」という。）を利用に供すること。

《政策的な位置付け（総合計画第2期実施計画より）》

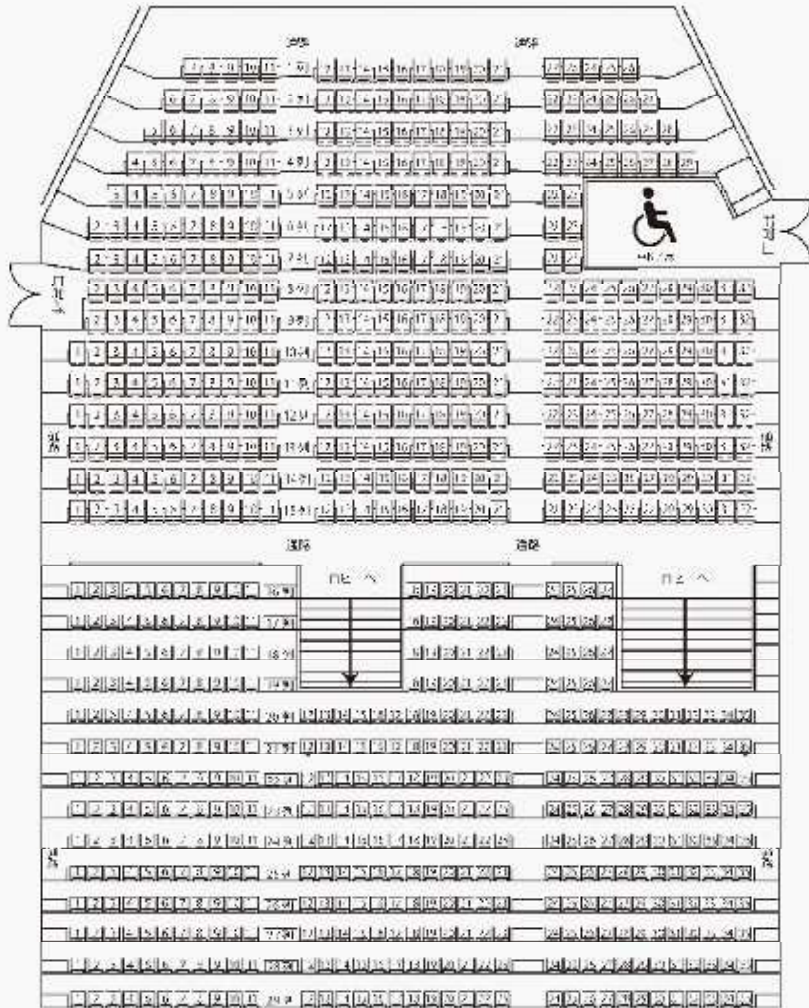


2. 施設レイアウト図



850席（車イス5席を含む）

舞台



3. 利用用途

平成30年度の利用状況の詳細は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
楽器演奏・合唱	274コマ	32.1%
太鼓	217コマ	25.4%
健康診断	48コマ	5.6%
演劇	41コマ	4.8%
ダンス	32コマ	3.8%
ダンス・音楽等の複合イベント	32コマ	3.8%
口笛世界大会	9コマ	1.1%
パレエ	8コマ	0.9%
会議・研修・講演会等	8コマ	0.9%
その他	28コマ	3.3%
不明	156コマ	18.3%
保守・点検・清掃等	55コマ	—
利用無し	187コマ	—
合計	1095コマ	

その他内訳	コマ数
民謡	5コマ
表彰式	3コマ
カラオケ大会	3コマ
映写会	3コマ
区民祭	3コマ
日本舞踊	3コマ
オペラ	2コマ
保育園お遊戯会等	2コマ
弁論大会	2コマ
幼稚園等の卒業式	1コマ
子育てサロン	1コマ
合計	28コマ

利用率：82.0%

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

※第1回部会で提示した数値は、予約時のふれあいネットデータを基にしているため、数値が大幅に異なる

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数上位の団体は以下の通り

団体名	回数
川崎市男女共同参画センター	60回
団体A（太鼓利用）	36回
団体B（太鼓利用）	36回
団体C（太鼓利用）	30回
団体D（太鼓利用）	29回
団体E（太鼓利用）	26回
団体F（オーケストラ利用）	24回
団体G（太鼓利用）	20回
団体H（オーケストラ利用）	17回
団体I（合唱利用）	12回

団体名	コマ数
川崎市男女共同参画センター	98コマ
団体A（太鼓利用）	46コマ
団体B（太鼓利用）	36コマ
団体C（太鼓利用）	30コマ
団体D（太鼓利用）	30コマ
団体F（オーケストラ利用）	27コマ
団体E（太鼓利用）	26コマ
団体J（劇団）	26コマ
団体K（高校吹奏楽部）	23コマ
団体I（合唱利用）	21コマ

※予約時のふれあいネットデータより算出（予約後のキャンセル等により実態と異なる場合がある）

5. これまでの主な修繕内容

- 平成10（1998）年度 : センター改造工事 (対象：施設全体)
- 平成20（2008）年度 : 天井反射板昇降装置改修 (対象：ホール)
- 平成23（2011）年度 : ホールつり天井補強 (対象：ホール)
- 平成24（2012）年度 : 舞台床部分補修 (対象：ホール)
- 平成25（2013）年度 : 空調設備（冷温水発生機）補修 (対象：施設全体)
- 平成30（2018）年度 : 屋上防水改修 (対象：施設全体)
- 平成31（2019）年度 : 舞台照明改修 (対象：ホール)
- 舞台音響改修 (対象：ホール)
- 舞台機構改修 (対象：ホール)
- 令和 2（2020）年度 : 空調用ポンプ更新 (対象：施設全体)
- 外壁改修 (対象：施設全体)

6. 今後想定される修繕内容（所管局要求分）

- 空調設備（冷温水発生機）更新（対象：施設全体）
- 電気設備改修（対象：施設全体）

7. 収支状況

新築・改修事業費及び平成28～30年度の収支状況は以下の通り

<施設全体の収支状況を整理した上で、面積按分等により算出した参考値>

●新築・改修事業費

単位：千円

項目	支出	収入	備考
改修事業費①	275,345		用途変更時の改修費
施設全体	45,931		令和2年度までの改修費
ホール部分	146,630		令和2年度までの改修費
改修事業費②	192,561		
新築・改修事業費合計	467,907		

●平成30年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	44,303		
支出合計	44,303		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		44,303	
ホール利用料		6,933	
その他		510	
収入合計		51,746	
人件費相当額	17,436		
施設管理運営費	15,997		
電気料	3,525		
ガス料	1,669		
水道料	769		
その他経費	4,426		
施設維持管理運営費	26,384		
事業費	7,203		相談事業、啓発事業ほか
支出合計	51,024		

●平成 29 年度収支状況

・市としての収支

単位:千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	4,430		
支出合計	4,430		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		44,303	
ホール利用料		6,691	
その他収入		413	
収入合計		51,407	
人件費相当額	16,192		
施設管理運営費	15,973		
電気料	3,612		
ガス料	1,577		
水道料	708		
その他経費	7,065		
施設維持管理運営費	28,934		
事業費	7,065		相談事業、啓発事業ほか
支出合計	52,190		

●平成 28 年度収支状況

・市としての収支

単位:千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	4,430		
支出合計	4,430		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		44,303	
ホール利用料		7,205	
その他収入		441	
収入合計		51,949	
人件費相当額	17,286		
施設管理運営費	15,920		
電気料	3,510		
ガス料	1,484		
水道料	767		
その他経費	4,504		
施設維持管理運営費	26,185		
事業費	7,110		相談事業、啓発事業ほか
支出合計	50,581		

8. 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

男女共同参画センターは、男女共同参画を推進する拠点として、男女平等の意識啓発（講座、講習等）を行うためにホールが必要となる。ホールの規模としては今よりもコンパクトで平場にもなる方が事業を行いやすい側面もあり、利用実態等も勘案しながら、今後の方向性を検討していく。

宮前市民館ホールの概要

1. 施設概要

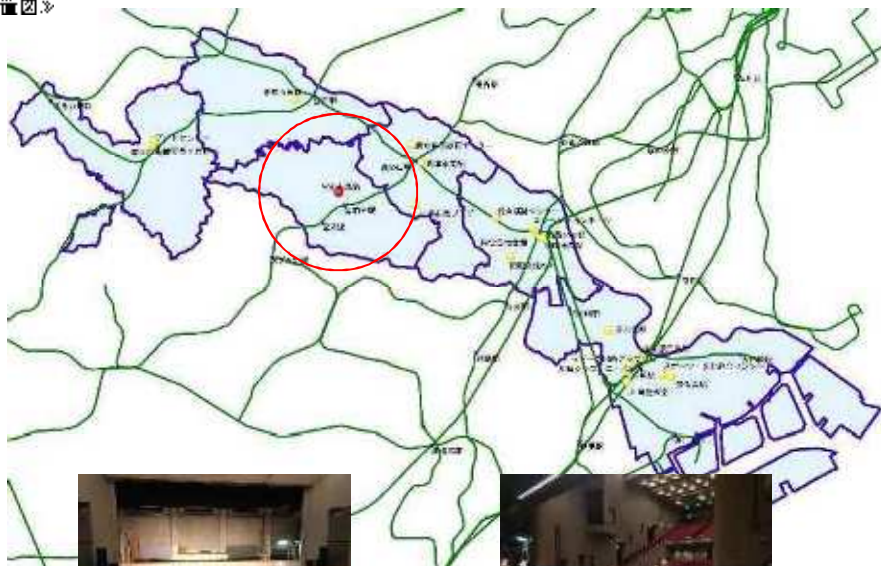
宮前市民館は、市民の自主的な学習・文化活動を支援する生涯学習の場であり、市民の生涯学習などの催しを行う場、さまざまな世代や職業の人を交流し、各種事業を実施して、玉蓮住民の「学び場、あそび場」を支援している。

宮前市民館は、業務期間運用時の機会を捉えて修繕の検討を進めている。そのために、大規模修繕工事などを行う必要があり、大規模修繕工事の発注や発注による予定費見込みを行ったが、調査結果は海山の危険がある状況であるため実施を断念する必要がある。今後、不具合については、修繕時期が到来しながら、大規模修繕の影響を最小限に抑えるべく対応していく必要がある。

《施設諸元》

- 所在地 : 川崎市宮前区宮前平 1-1-4
- 竣工年月日 : 昭和59（1984）年11月30日【築37年】
- 構造 : 鉄筋コンクリート造
- 階層 : 地上3階、地下1階
- 敷地面積 : 4,314.9㎡
- 建物面積 : 8,433.4㎡
- ホール面積 : 3,314.4㎡（床面積をめぐらした関連部分の面積）
- ホール定員 : 910名
- 利用時間 : 午前9時から午後9時まで
- 休館日 : 毎月第3月曜日及び09月18日（9月：9月～12月31日）

《位置図》



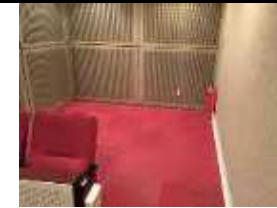
ステージ



観客席



客席（全席）



客席（車椅子用）

《利用料金》

入場料の有無		単位：円		
		9:00～ 11:30	12:30～ 16:30	17:30～ 21:00
無料の場合	平日	7,260円	9,330円	13,720円
	土日祝	8,710円	11,610円	20,000円
1,000円未満 (平日単価の5割増)	平日	10,300円	14,520円	25,080円
	土日祝	12,312円	20,150円	28,120円
3,000円未満 (平日単価の10割増)	平日	14,300円	19,460円	34,480円
	土日祝	17,370円	24,090円	41,780円
3,000円以上 (平日単価の20割増)	平日	21,780円	29,040円	50,180円
	土日祝	26,232円	35,070円	58,500円

※ホールを予約するお客様は座席指定が可能です。

《乗列上の位置付け（川崎市市民館条例より）》

《設置目的》

市民のあらゆる生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、市民の教養の向上を図る。

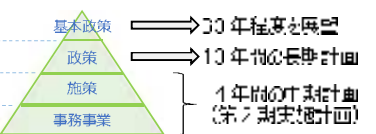
《業務内容》

- 幼児、小学生の課外学習の普及及び奨励を図ること。
- 読書会、講演会、講習会、講習会、通訳会等を開催すること。
- 図書、記録、標本、資料等を借り、その利用を図ること。
- 座席、コンクリートなどを修理し修繕を関係すること。
- 文化活動の奨励を行うこと。
- 視聴覚機器の貸出しを行うこと。
- 社会教育関係団体との連携を図ること。
- 観光客の誘引を市民館等の他の公共的利用に併せて行うこと。

《政策的な位置付け（総合計画第2期実施計画より）》

- 基本政策 1 「市民生活の向上を図ること」
- 政策 3 「生活文化の向上を図ること」
- 政策 2-3 「市民学習の普及を図ること」
- 事務事業 社会教育振興事業

政策体系イメージ



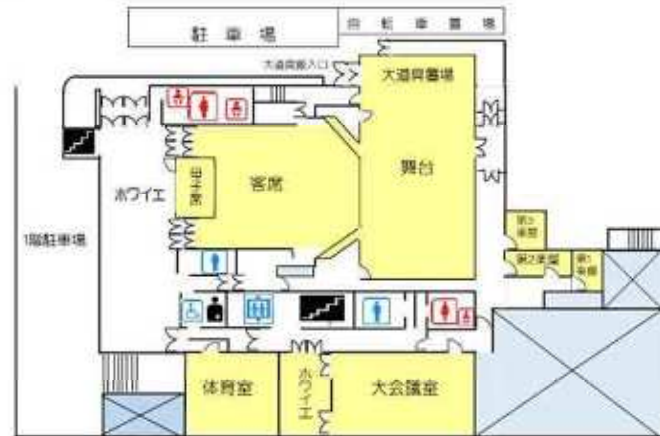
市民の学習活動の支援、社会教育と担い手育成の推進、市民ネットワークの構築などを通じて、市民の生活文化の向上を図る。市民の力による地域の教育文化の向上を図る。

2. 施設レイアウト図

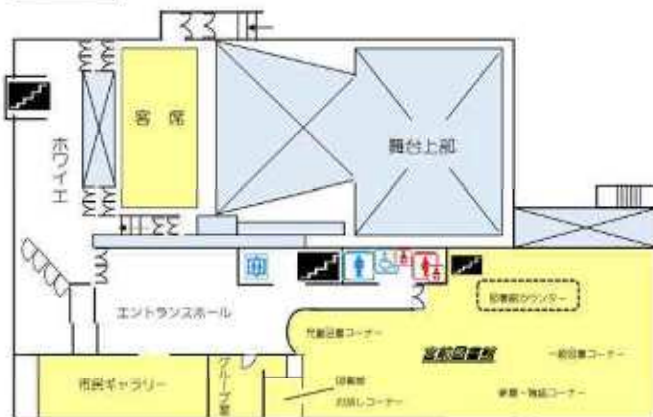
地下平面図



1階平面図



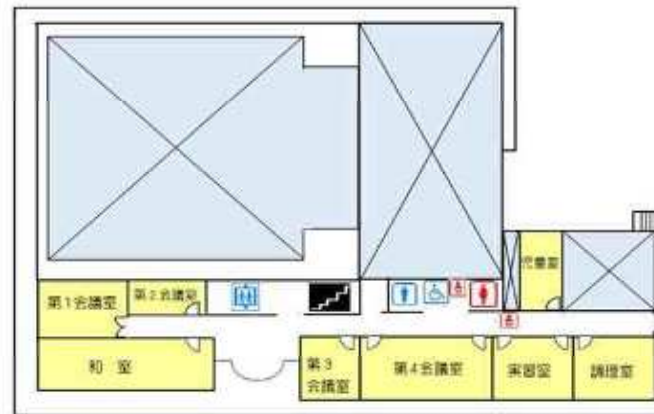
2階平面図

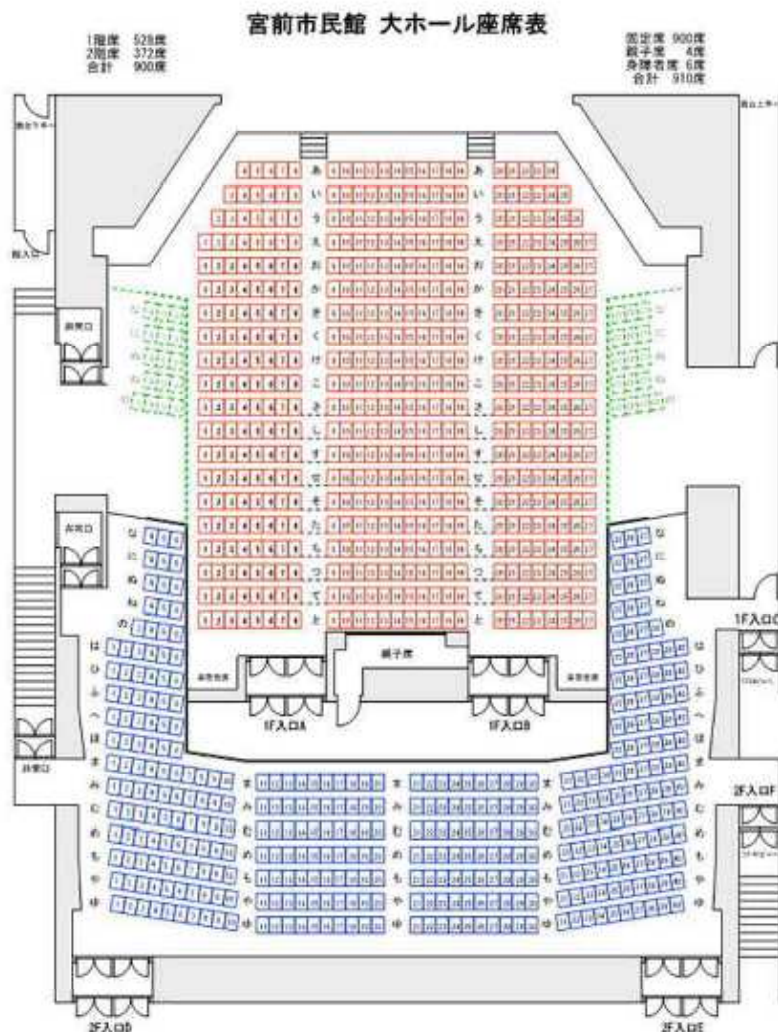


3階平面図



4階平面図





3. 利用用途

平成30年度の利用状況の割合は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
楽器演奏・合唱	89コマ	11.4%
パソコン	99コマ	12.6%
ダンス	72コマ	9.2%
健康講座	91コマ	11.6%
会議・研修・研修会等	81コマ	10.4%
音楽・ダンス等の観覧イベント	86コマ	11.0%
大観	84コマ	10.8%
演劇	20コマ	2.6%
映画会	1コマ	0.1%
児童会行事等「あそび」イベント	2コマ	0.3%
その他	81コマ	10.4%
不明	38コマ	4.9%
保守・点検・清掃等	111コマ	—
利用未定	233コマ	—
	774コマ	

その他内訳	コマ数
芸術イベント(演劇等)	2コマ
音楽・ダンス等	3コマ
市民活動紹介イベント	1コマ
宴会等	2コマ
民謡	2コマ
福祉イベント	2コマ
その他イベント	2コマ
	21コマ

利用率：75.8%

本施設運営の経費目（印刷時の印字料等が対象）を分析・整理することにより、

点検・印刷部分で提示した数値は、印刷時の必要最小コマ数を基にしているため、数値が異なる。

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数上位の団体は以下の通り

団体名	回数
行政川町警察運動施設 特別免許課	31回
五箇区教育委員会 池田地区民防隊	11回
団体A (ダンス等)	11回
宮前区文化協会	6回
団体B (ダンス)	6回
団体C (バレエ)	6回
宮前区保健体育学習支援課	3回
団体D (ダンス)	3回
団体E (吹奏楽)	3回
川崎市立宮前平中学校	3回

団体名	コマ数
行政川町警察運動施設 特別免許課	46コマ
五箇区教育委員会 池田地区民防隊	31コマ
団体A (ダンス等)	33コマ
宮前区文化協会	33コマ
団体B (ダンス)	33コマ
団体C (バレエ)	33コマ
宮前区保健体育学習支援課	18コマ
団体D (ダンス)	18コマ
団体E (吹奏楽)	14コマ
川崎市立宮前平中学校	14コマ

本庁利用の必要最小コマ数を基に出した数値は、印刷時の必要最小コマ数を基にしているため、数値が異なる場合があります。

5. これまでの主な修繕内容、及び、今後想定される修繕内容

修繕の検討を行っているため、これら大規模な修繕は最低次の内容として定めた。今後については、修繕の検討も進めなければならない。不具合が発生した施設利用に影響の大きい施設については、

【主な修繕内容】

- ▶ 令和1（2019）年度： 庁舎天井修繕（施設：ホール）
ホール壁面剥落修繕（施設：ホール）

【今後想定される修繕内容】

- ▶ 令和2（2020）年度： 顕光器点検更新（施設：ホール）

6. 収支状況

本案・施設事業費及び平成28～30年度の収支状況は以下のとおり。

※施設全体の収支状況を整理した上で、面積区分等による単位当たりを記載。

●新築・改修事業費 単位:千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	304,267		公有財産台帳より
施設全体	7,767		令和2年度までの改修費
ホール部分	30,000		令和2年度までの改修費
改修事業費	37,767		
新築・改修事業費合計	432,064		

●平成30年度収支状況 単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		12,068	
利用料収入		12,068	
収入合計		12,068	
人件費相当額	14,701		
施設管理運営費	17,270		
電気料	3,505		
ガス料	1,331		
水道料	670		
小規模修繕料	46		
その他経費	1,215		消耗品等
共有部管理費等負担金	0		
施設維持管理運営費	24,046		
支出合計	38,747		

●平成29年度収支状況 単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		11,772	
利用料収入		11,772	
収入合計		11,772	
人件費相当額	14,701		
施設管理運営費	18,137		
電気料	2,886		
ガス料	1,161		
水道料	587		
小規模修繕料	310		
その他経費	1,228		消耗品等
共有部管理費等負担金	0		
施設維持管理運営費	21,429		
支出合計	39,131		

●平成28年度収支状況 単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		12,078	
利用料収入		12,078	
収入合計		12,078	
人件費相当額	14,896		
施設管理運営費	18,051		
電気料	3,029		
ガス料	877		
水道料	579		
小規模修繕料	492		
その他経費	1,467		消耗品等
共有部管理費等負担金	0		
施設維持管理運営費	24,405		
支出合計	39,191		

7. 今後の方向性（施設所管課ヒアリング結果）

市民福祉「市民館（大ホール）改修事業」を備えた文化施設としての機能を持つ都市型であり、市民の目的・目的の異なる活動を支援している「社会教育施設」として、施設利用が日進月歩な成長や文化活動の発展を促進する場としてホールは必要であると考えるが、今後も、不況等に対応した施設利用を促していく。

1. 施設概要

多摩市民館は、市民の自主的な学習・文化活動を支援する生涯学習の場であり、ホール・会議室など約1,000㎡の広さ、さまざまな世代や立場の人を対象とした各種事業を実施して、多摩住民の「学ぶ場、集う場づくり」を支援している。

多摩市民館は多摩大ホール、多摩市民館、多摩ホール（夜間急ぎ席）、多摩同業品産等センター、多摩市民センターからなる複合型総合庁舎である。ホールは、市民が出入りすると観客の来庁・離席がなく、楽器演奏・合唱などがなく、ダンスや演劇などが盛んに行われている。

《施設諸元》

- 所在地：川崎市多摩区金田1-1-1 金田1
- 竣工年月日：平成21（1999）年9月30日 【第3期】
- 用途：教育研究センタービル
- 階層：地上12階、地下1階
- 敷地面積：7,344㎡
- 建物面積：37,875㎡（多摩大総合庁舎として）
- ホール面積：3,070㎡（床面積を含めホール関連部分の面積）
- ホール座席：9,000席
- 利用時間：午前9時から午後9時まで
- 休館日：毎月第3月曜日及び09月16日（9月30日～10月3日）

《位置図》



舞台席



客席席



客席（全席）



客席（半席下用）

《利用料金》

入場料の有無		単位：円		
		9:00~ 11:30	12:30~ 16:30	17:30~ 21:00
無料の場合	平日	7,260円	9,340円	10,780円
	土日祝	8,710円	11,610円	13,030円
1,000円未満 (平日単価の5割増)	平日	10,390円	14,520円	16,030円
	土日祝	12,460円	16,930円	18,640円
3,000円未満 (平日単価の10割増)	平日	14,420円	19,360円	21,440円
	土日祝	17,070円	23,030円	25,780円
3,000円以上 (平日単価の20割増)	平日	21,780円	29,040円	32,160円
	土日祝	26,070円	34,970円	38,600円

※ホールを予約する人数に応じた価格の引き下げが可能

《条例上の位置付け（川崎市市民館条例より）》

《設置目的》

市民のたまり場、集いの場となる教育、学術及び文化に関する各種の事業を行ない、もって市民の教養の向上を図る。

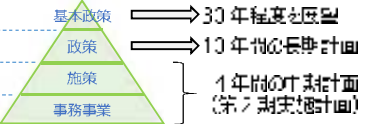
《業務内容》

- ・幼児、青少年及び成人に関する学術及び講座を開催すること。
- ・研究会、講演会、講習会、講習会、講習会を開催すること。
- ・図書、記録、標本、資料等を保管し、その利用を図ること。
- ・体育、レクリエーション等に関する事業を開催すること。
- ・文化活動の奨励を行うこと。
- ・視聴覚機器の展示を行うこと。
- ・社会教育関係団体と協力を図ること。
- ・国及び市設置の市民の集いの場の公共利用を行うこと。

《政策的な位置付け（総合計画第2期更新計画より）》

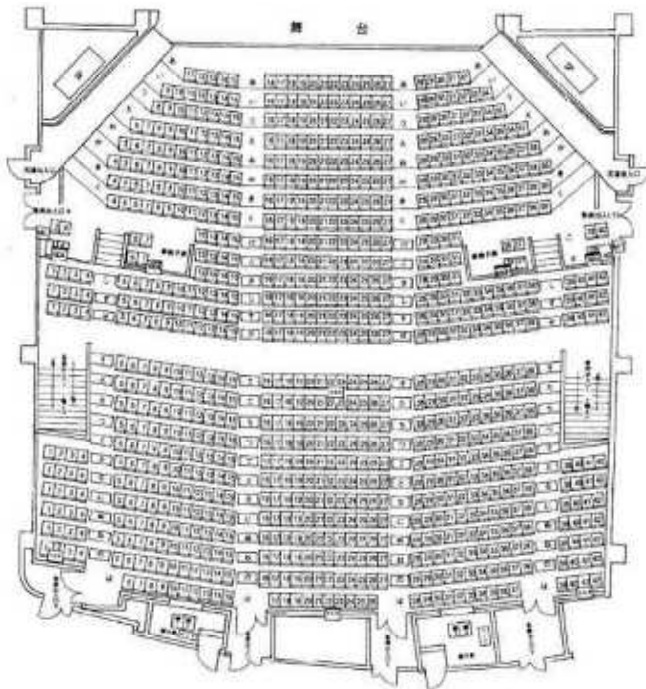
- 基本政策の「市民を大切にすること」の具体的な取り組み
- 政策の「市民生活の向上を図る」
- 施策の「市民生活の向上を図る」
- 事務事業「社会教育振興事業」

政策体系イメージ



市民の学習活動の支援、社会教育と担い手の育成・育成の推進、市民ネットワークの構築、市民生活の向上、学術・文化・芸術の発展の推進を図り、市民の力による地域の教育文化の向上を図る。

2. 施設レイアウト図



多摩市民館 平面図



3. 利用用途

平成30年度の利用状況(令和時代以下の利用)

利用用途	コマ数	割合
奉仕献音・音階	289コマ	29.7%
バレエ	162コマ	16.6%
演劇	92コマ	9.5%
会議・研修・講習等	99コマ	10.2%
ダンス	43コマ	4.4%
健康増進	43コマ	4.4%
ダンス・健康等(総合イベント)	31コマ	3.2%
五明長者等の朗読イベント	2コマ	0.2%
映画会	6コマ	0.6%
一般中	6コマ	0.6%
卒園会	12コマ	1.2%
その他	36コマ	3.7%
不明	8コマ	0.8%
代客・宴会・雑費等	99コマ	—
利用未定	209コマ	—

7156コマ

その他内訳	コマ数
学芸会	4コマ
入会準備	1コマ
入会	6コマ
演奏	6コマ
アパレルメンテナンス	3コマ
くさくさイベント	3コマ
合唱団向けの歌イベント	3コマ
雑音	6コマ
会議	6コマ
生乳発表会	4コマ
撮影	1コマ
アパレルメンテナンス	3コマ

35コマ

利用率：79.0%

小豆蔵保管の紙資料(川崎市の行政事務記録)を倉庫・整理することにより発生

小豆蔵の一部倉庫に発生した数値は、予備時の倉庫のスペースを異にしたため、数値が異なる

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数(利用コマ数)の団体(以下)の状況

団体名	回数
千葉県警察音楽隊(計画外)	21回
団体A(津波伝承会)	4回
多摩区文化協会	9回
団体B(くさくさカル)	9回
団体C(ペン)	4回
団体D(健康増進)	4回
多摩市民舞	7回
団体E(演劇)	7回
団体F(吹奏)	7回
市民文化見市民文化振興会	7回

団体名	コマ数
千葉県警音楽隊(計画外)	18コマ
多摩区文化協会	2コマ
多摩市民舞	2コマ
団体A(津波伝承会)	3コマ
団体B(くさくさカル)	19コマ
団体C(演劇)	19コマ
団体D(健康)	6コマ
団体E(吹奏)	3コマ
総合教育センター	11コマ
団体F(吹奏)	11コマ

小豆蔵時のみ、このスペースより発生(予備時の倉庫スペースにより発生が異なる場合がある)

5. これまでの主な修繕内容

【主な修繕内容】

- 平成24～29年度(2012～2017年度)
 - 11月防音壁更新 (対象：施設全体)
 - 空調設備更新(2014年度) (対象：施設全体)
- 平成24～29年度(2012～2017年度)
 - 11月防音壁改修 (対象：施設全体)
- 平成29年度(2017年度)
 - 11月空調設備更新 (対象：施設全体)
- 令和1年度(2019年度)
 - 5月空調設備改修 (対象：施設全体)
 - 舞台照明更新、アパレル等改修 (対象：ホール)

6. 今後想定される修繕内容(所管局要求分)

- 11月空調設備改修(対象：施設全体) ※現在工事中
- 11月空調改修 (対象：施設全体)
- 外装改修 (対象：施設全体)
- 空調設備改修 (対象：施設全体)
- 舞台照明設備改修 (対象：ホール)

※空調設備は不具合が生じ始めており、施設利用への影響が懸念される。管轄局に工事を行う予定については、令和2年度特定非営利活動法人の元民間施設に委託しての実装を検討していく必要がある

7. 収支状況

新築・改修事業費及び平成25～30年度の収支状況は以下の通り

本施設全体の収支状況を把握した上で、面積割合等により算出される数値。

●新築・改修事業費		単位：千円	
項目	支出	収入	備考
新築事業費	436,806		公有財産台帳より
施設全体	74,665		令和2年度までの改修費
ホール部分	118,312		令和2年度までの改修費
改修事業費	194,007		
新築・改修事業費合計	630,893		

●平成 30 年度収支状況

単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		14,170	
利用料収入		14,170	
収入合計		14,170	
人件費相当額	6,194		
施設管理運営費	5,932		
電気料	2,600		市民館分面積按分
ガス料	620		市民館分面積按分
水道料	435		市民館分面積按分
小域経費	20		
その他経費	112		消耗品等
共有部管理費等負担金	0		
施設維持管理運営費	8,913		
支出合計	16,136		

●平成 28 年度収支状況

単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		13,320	
利用料収入		13,320	
収入合計		13,320	
人件費相当額	6,191		
施設管理運営費	5,752		
電気料	2,300		市民館分面積按分
ガス料	604		市民館分面積按分
水道料	433		市民館分面積按分
小域経費	18		
その他経費	101		消耗品等
共有部管理費等負担金	0		
施設維持管理運営費	8,287		
支出合計	15,488		

●平成 29 年度収支状況

単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		14,083	
利用料収入		14,083	
収入合計		14,083	
人件費相当額	7,125		
施設管理運営費	5,861		
電気料	2,416		市民館分面積按分
ガス料	795		市民館分面積按分
水道料	435		市民館分面積按分
小域経費	105		
その他経費	207		消耗品等
共有部管理費等負担金	0		
施設維持管理運営費	9,548		
支出合計	16,974		

④ 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

市民館は「市民館（入浴スペース等）を備えた公民館」のうちの施設を指し、本市型公民館であり、市民の自発的・主体的な学習活動を支援している。社会教育施設として、堂々が成果の発表や文化活動の場として多目的に使えるホールが必要であり、今後も利用やイベント等に活用しながら、適切に管理運営を行っていく。

1. 施設概要

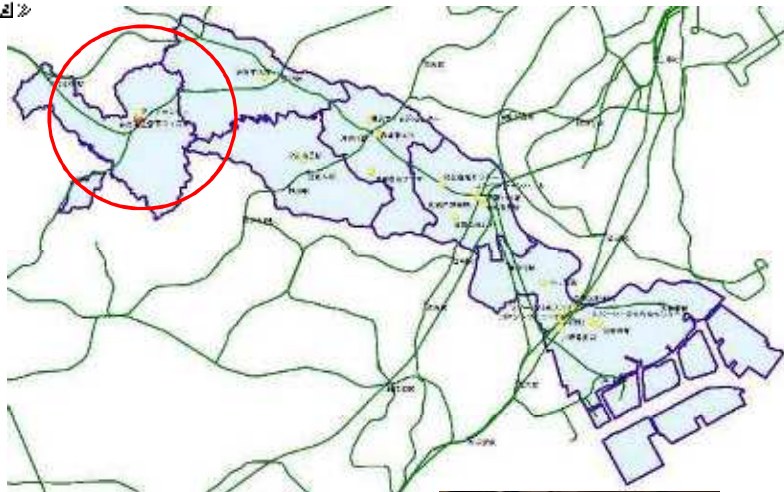
麻生市民館は、市民の自主的な学習と文化活動を支える生涯学習の場であり、市民の生涯学習などの向上を図るため、さまざまな世代や職業の人を対象とした各種事業を実施し、市民の「生きがい、暮らしづくり」を支援している。

麻生区は日本映画大学や昭和音楽大学、川崎市アートセンターなどが芸術・文化関係の施設が豊富で、市民を通じて市民の学びの場を広げ、文化の場が充実すること、また市民の文化が身近に感じられる街づくりを、市の政策として積極的に推進しており、麻生市民館の開設は川崎市と麻生区が連携して行っている。

《施設諸元》

- 所在地：川崎市麻生区宮崎町1丁目5番10号
- 竣工年月日：昭和55年（1980年）5月31日【第41期】
- 構造：鉄筋コンクリート造
- 階数：地上3階、地下1階
- 敷地面積：4,598㎡
- 建物面積：3,998㎡
- ホール面積：3,311㎡（床面積をめぐらした関連部分の面積）
- ホール容積：1,010㎡
- 利用時間：午前9時から午後9時まで
- 休館日：毎月第3月曜日及び9月（休館）第1～3日

《位置図》



舞台前



舞台後



舞台（全体）



舞台（車椅子用）

《利用料金》

単位：円

入場料の有無		9:00~	12:30~	17:30~
		11:30	16:30	21:00
無料の場合	平日	7,260円	9,340円	10,780円
	土日祝	8,710円	11,610円	13,030円
1,000円未満 (平日単価の5割増)	平日	10,390円	14,520円	16,830円
	土日祝	12,470円	17,150円	19,740円
3,000円未満 (平日単価の10割増)	平日	14,420円	19,460円	22,440円
	土日祝	17,500円	23,590円	27,350円
3,000円以上 (平日単価の20割増)	平日	21,780円	29,840円	34,160円
	土日祝	26,240円	35,970円	41,070円

※この料金を支払うと当日の座席の指定が可能

《条例上の位置付け（川崎市市民館条例より）》

《設置目的》

市民のたより、実用性、即応性、教育、学術及び文化に関する各種の事業を行なうこと、市民の教養の向上を図る。

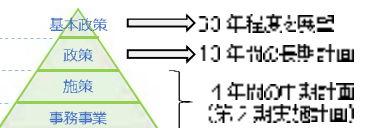
《業務内容》

- ・幼児、青少年及び成人に関する学術及び講座を開催すること。
- ・読書会、講演会、講習会、講習会、講義会等を開催すること。
- ・図書、記録、松子、資料等を借出し、その利用を図ること。
- ・座席、コンクリート・タイル等に関する事業を開催すること。
- ・文化活動の場を提供すること。
- ・視聴覚機器の貸出しを行なうこと。
- ・社会教育関係の事業を行なうこと。
- ・市民の学習や活動の場としての他の公共的利用に供すること。

《政策的な位置付け（総合計画第2期実施計画より）》

- 基本政策 1 「市民を主体的に育てるためのまちづくり」
- 政策 3 「生涯学習の充実を図る」
- 政策 2-3-2 「市民学習、活動するための支援」
- 事務事業 社会教育振興事業

政策体系イメージ

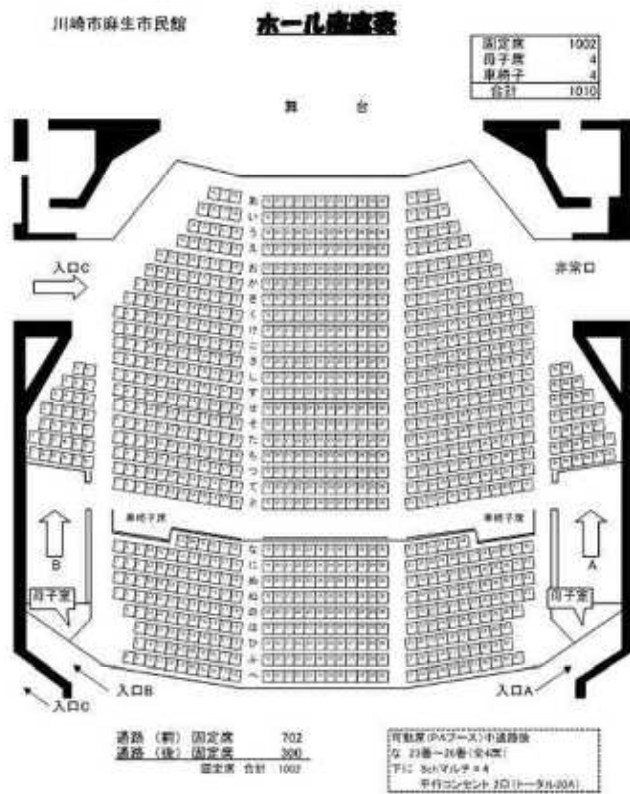


市民の学習や活動の支援、社会教育と担い手育成やボランティア等の育成、市民ネットワークづくりなどを行なうこと、学術や研究の活用を図り、市民の力による地域の教育の向上を図る。

2. 施設レイアウト図

平面図





3. 利用用途

平成30年度の利用状況の割合は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
楽器演奏・合唱	140コマ	13.8%
会議・研修・講演会等	134コマ	13.2%
演劇	80コマ	7.9%
ダンス	47コマ	4.6%
バレー	39コマ	3.8%
音楽・ダンス等の観音ホール等	34コマ	3.3%
児童劇団	28コマ	2.8%
大衆	2コマ	0.2%
取組会	18コマ	1.8%
奉仕行	18コマ	1.8%
各種	10コマ	1.0%
その他	89コマ	8.8%
不明	3コマ	0.3%
保守・点検・清掃等	130コマ	—
利用無し	194コマ	—
合計	1010コマ	—

その他内訳	コマ数
観音ホール観音ホール	3コマ
観音ホール観音ホール	3コマ
入館準備	5コマ
演奏	1コマ
練習	1コマ
バレー	1コマ
バレー	1コマ
バレー	1コマ
合計	29コマ

利用率：79.3%

小施設運営の運営費（印刷費の印字料等が請求）を合算・処理することにより算出
 小計の一部が重複した数値は、印刷費の重複払いを修正したため、数値が異なる。

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数の順位は以下の通り

団体名	回数
川崎市警察運動施設本部免許課	31回
総合体育センター	11回
区民A	8回
麻生音楽祭実行委員会	9回
川崎・1.人権支那協会実行委員会	8回
区民B（音楽教室）	8回
区民C（学校）	7回
川崎市立金倉中学校	7回
区民D（運動クラブ）	6回
区民E（ダンス）	6回

団体名	コマ数
川崎市警察運動施設本部免許課	46コマ
総合体育センター	34コマ
川崎・1.人権支那協会実行委員会	24コマ
区民A	22コマ
麻生音楽祭実行委員会	22コマ
区民B（音楽教室）	20コマ
区民C（学校）	18コマ
区民D	14コマ
区民E（運動クラブ）	4コマ
区民F（音楽教室）	4コマ
川崎市立金倉中学校	3コマ

小計の一部が重複した数値は、印刷費の重複払いを修正したため、数値が異なる場合がある

5. これまでの主な修繕内容

【主な修繕内容】

- ▶ 平成27(2015)年度 : 屋上防水改修 (対象:施設全体)
- ▶ 平成28(2016)年度 : 録音機・照明・音響改修 (対象:ホール)
- ▶ 平成30(2018)年度 : 空調設備メンテナンス (対象:施設全体)
- ▶ 令和1(2019)年度 : エントランス改修 (対象:施設全体)
- ▶ 令和2(2020)年度 : 日光灯・非常灯点検・修繕 (対象:施設全体)
 外装改修 (対象:施設全体)
 日光灯メンテナンス (対象:施設全体)
 目次発電設備改修 (対象:施設全体)

6.今後想定される修繕内容(所管局要未分)

- ▶ 発電機設備改修 (対象:施設全体)※現在工事中
- ▶ エントランス (対象:施設全体)

※発電機設備については、決定的修繕の予定があり、不具合が生じた際に利用に影響を及ぼす

7. 収支状況

※新築・改修事業費及び平成28・30年度の収支状況は以下の頁

※施設全体の収支状況を把握した上で、面積割合等により算出した参考値

●新築・改修事業費

単位:千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	420,796		公有財産台帳より
施設全体	141,774		令和2年度までの改修費
ホール部分	458,558		令和2年度までの改修費
改修事業費	600,332		
新築・改修事業費合計	1,021,128		

●平成30年度収支状況

単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		11,170	H2011~H3033 ホール休館
利用料収入		11,170	
収入合計		11,170	
人件費相当額	10,503		
施設管理運営費	27,582		
電気料	4,368		
ガス料	2,022		
水道料	1,030		
小破修繕料	372		
その他経費	657		消耗品等
共有部管理費等負担金	0		
施設維持管理運営費	36,033		
支出合計	54,616		

●平成29年度収支状況

単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		6,783	H2911~H3033 ホール休館
利用料収入		6,783	
収入合計		6,783	
人件費相当額	10,507		
施設管理運営費	24,654		
電気料	3,678		
ガス料	1,438		
水道料	821		
小破修繕料	630		
その他経費	1,500		消耗品等
共有部管理費等負担金	0		
施設維持管理運営費	33,132		
支出合計	51,719		

●平成28年度収支状況

単位:千円

項目	支出	収入	備考
ホール利用料		11,376	
利用料収入		11,376	
収入合計		11,376	
人件費相当額	10,500		
施設管理運営費	26,100		
電気料	5,040		
ガス料	1,658		
水道料	1,008		
小破修繕料	124		
その他経費	417		消耗品等
共有部管理費等負担金	0		
施設維持管理運営費	34,377		
支出合計	52,867		

8. 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

市民病院「公民館」と大ホールが併設されていることで公民館の2つの機能を持つ都市型施設であり、市民の日常的・主体的な学習活動を支えることによる「社会教育施設」として、地域住民が自ら主体的に成長や文化を創出を促進する場としてホールは必要であると認識しており、令和3年度予算編成時にこの利用を促していく

1. 施設概要

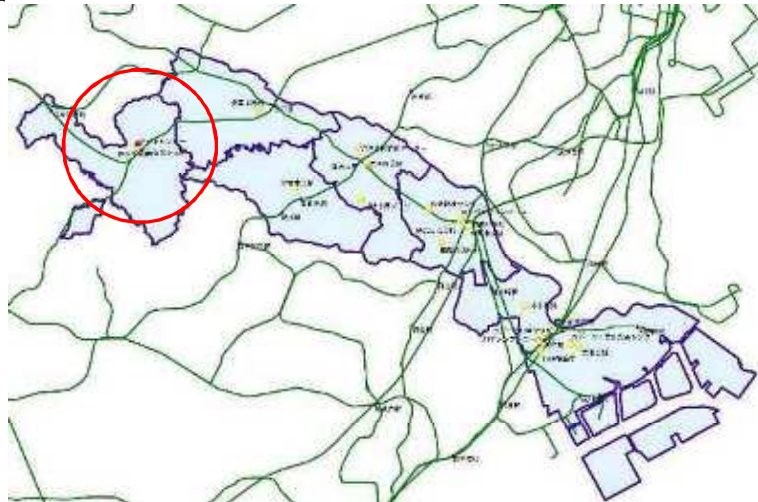
川崎市アートセンターは市民の芸術文化の発展に寄与するため、新しい文化振興の拠点として平成19年10月31日にオープンした。芸術文化に関する豊かな地域資源を持つ新百合ヶ丘駅周辺地域を「しんゆり・芸術のまち」として、より一層活力のあるまちづくりを進めるために、川崎市アートセンターは、これまで行われてきた芸術のまちづくりを継承し、さらに発展させることを基本理念としている。

小劇場（ホール）と映像館があり、小劇場（ホール）においては演劇利用が多くを占めており、貸館事業だけでなく、主催事業が多く行われている。

《施設諸元》

- 所在地 : 川崎市麻生区万福寺6-7-1
- 建築年月日 : 平成19(2007)年10月10日 【築14年】
- 構造 : 鉄筋コンクリート造
- 階層 : 地上3階
- 敷地面積 : 2,138㎡
- 建物面積 : 1,912㎡
- ホール面積 : 667.31㎡ (映像館除く、楽屋等含めたホール関連部分の面積)
- ホール定員 : 195席
- 使用時間 : 午前9時から午後10時30分まで
- 休館日 : 年末年始(12月29日～1月3日)、毎月第2月曜日(施設・設備点検)

《位置図》



舞台①



舞台②



客席



工房

《利用料金》

単位：円

時間帯別料金	9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～22:30
平日	14,000円	28,000円	35,000円
土日祝	16,800円	33,600円	42,000円

※練習、準備等のために利用する場合の施設利用料の額は、規定利用料の5割相当額

《条例上の位置付け(川崎市アートセンター条例より)》

《設置目的》

芸術文化の創造、発信及び交流を促進するとともに、芸術文化の鑑賞の機会を提供し、もって市民の芸術文化の発展に寄与する。

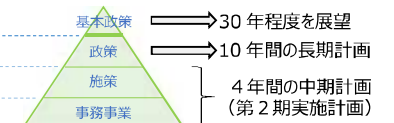
《業務内容》

- ・芸術文化の創造、発信及び交流を促進するための事業に関すること。
- ・芸術文化の鑑賞会を開催すること。
- ・施設及び設備を利用に供すること。
- ・芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- ・芸術文化に関する活動の支援に関すること。
- ・芸術文化に係る施設、芸術文化に関する活動を行う団体等との連携に関すること。
- ・その他設置目的を達成するために必要な事業に関すること。

《政策的な位置付け(総合計画第2期実施計画より)》

- 基本政策 4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり
- 政策 4-8 スポーツ・文化芸術を振興する
- 施策 4-8-2 市民の文化芸術活動の振興
- 事務事業 アートセンター管理運営事業

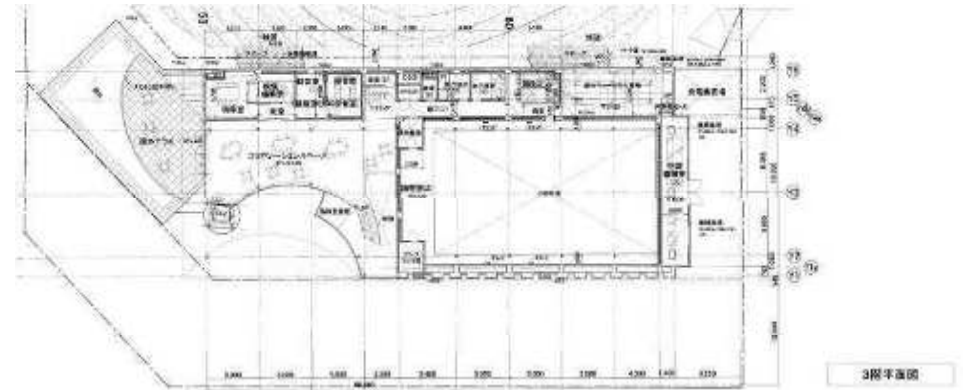
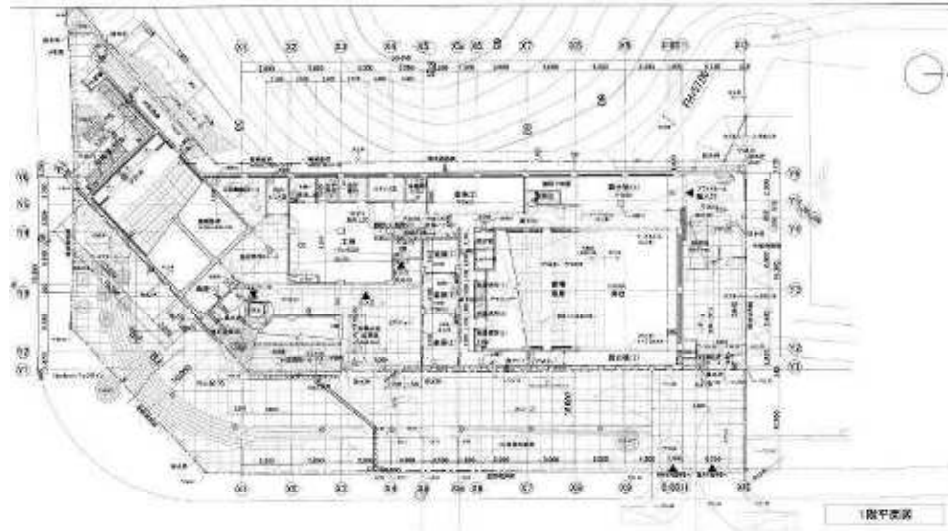
政策体系イメージ



芸術文化の創造・発信・交流を促進するとともに、芸術文化の鑑賞の機会を提供することで、市民の芸術文化の発展に寄与するための創造・発信拠点として「アートセンター」を運営します。

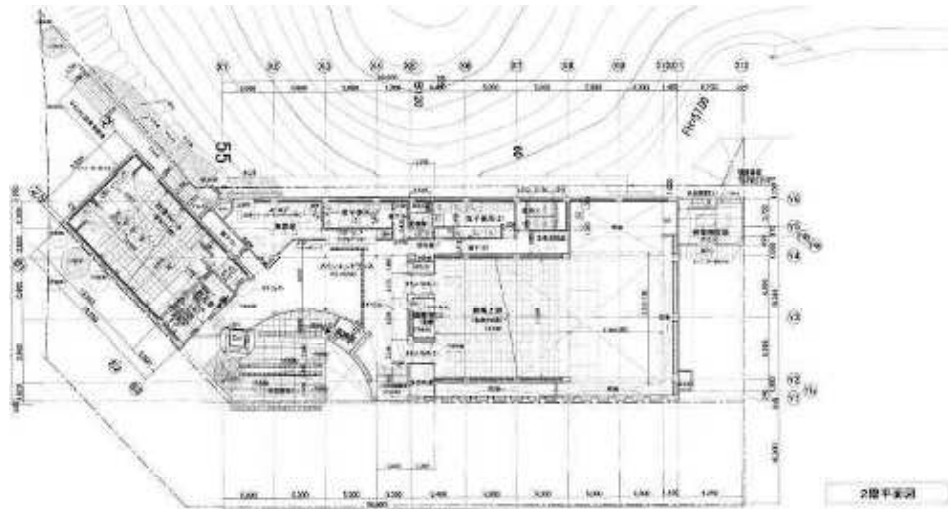
2. 施設レイアウト図

平面図



客席平面図

川崎市アートセンター アルテリオ小劇場座席表



客席																				
舞台																				
1	2	3	4	5	B	6	7	8	9	10	11	12	13	14	B	15	16	17	18	19
1	2	3	4	5	C	6	7	8	9	10	11	12	13	14	C	15	16	17	18	19
1	2	3	4	5	D	6	7	8	9	10	11	12	13	14	D	15	16	17	18	19
中通路																				
1	2	3	4	E	5	6	7	8	9	10	11	12	E	13	14	15	16			
1	2	3	4	F	5	6	7	8	9	10	11	12	F	13	14	15	16			
1	2	3	4	G	5	6	7	8	9	10	11	12	G	13	14	15	16			
1	2	3	4	H	5	6	7	8	9	10	11	12	H	13	14	15	16			
1	2	3	4	I	5	6	7	8	9	10	11	12	I	13	14	15	16			
1	2	3	4	J	5	6	7	8	9	10	11	12	J	13	14	15	16			
1	2	3	4	K	5	6	7	8	9	10	11	12	K	13	14	15	16			
1	2			L	5	6	7	8	9	10	11	12	L			15	16			
1	2			M	5	6	7	8	9	10	11	12	M			15	16			

3. 利用用途

平成30年度の利用状況の詳細は以下の通り

利用用途	コマ数	割合
演劇	433 コマ	75.7%
楽器演奏・合唱	30 コマ	5.2%
映画会	26 コマ	4.5%
ダンス	23 コマ	4.0%
寄席	20 コマ	3.5%
その他	28 コマ	4.9%
不明	12 コマ	2.1%
保守・点検・清掃等	66 コマ	—
利用無し	157 コマ	—
	1095 コマ	

その他内訳	コマ数
太鼓	10 コマ
江戸が写し絵	6 コマ
人形劇	4 コマ
お遊戯会	4 コマ
会議・研修・講演会等	2 コマ
プレゼン	2 コマ
	28 コマ

利用率：55.6%

※施設保管の紙資料（申請時の行事名等が記載）を分析・整理することにより算出

4. 利用団体の状況

平成30年度の利用回数・利用コマ数上位の団体は以下の通り

団体名	コマ数
主催事業	224 コマ
団体A（演劇）	45 コマ
団体B（演劇・映画会）	36 コマ
団体C（演劇）	36 コマ
団体D（演劇）	30 コマ
団体E（演劇）	21 コマ
団体F（演劇）	21 コマ
団体G（演劇）	21 コマ
団体H（演劇）	15 コマ
団体I（大学）	15 コマ

※施設保管の利用申請資料を共に算出

5. これまでの主な修繕内容

【主な修繕内容】

- ▶ 平成30（2018）年度：舞台機構ワイヤー、制御盤部品等交換（対象：ホール）
- ▶ 令和1（2019）年度：舞台音響卓等更新（対象：ホール）
- ▶ 令和2（2020）年度：屋上防水改修（対象：施設全体）

6. 今後想定される修繕内容（所管局要求分）

- ▶ 空調設備オーバーホール（対象：施設全体）

※施設利用に影響無きよう、必要に応じて修繕を行っていく。

7. 収支状況

新築・改修事業費及び平成28～30年度の収支状況は以下の通り

◀施設全体の収支状況を整理した上で、面積按分等により算出した参考値▶

●新築・改修事業費

単位：千円

項目	支出	収入	備考
新築事業費	352,817		公有財産台帳より
施設全体	4,112		令和2年度までの改修費
ホール部分	13,313		令和2年度までの改修費
改修事業費	17,425		
新築・改修事業費合計	370,243		

●平成30年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	53,921		
支出合計	53,921		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		53,921	
ホール利用料		10,586	
入場料収入		10,879	
補助金		5,128	文化庁補助金ほか
その他収入		3,520	
収入合計		84,034	
人件費相当額	19,312		
施設管理運営費	18,598		
電気料	2,645		
ガス料	0		
水道料	470		
小破修繕料	1,215		
その他経費	46,015		業務分担金、賃借料ほか
施設維持管理運営費	68,942		
支出合計	88,254		

●平成 29 年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	54,642		
支出合計	54,642		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		54,642	
ホール利用料		11,631	
入場料収入		14,326	
補助金		70	
その他収入		2,550	
収入合計		83,219	
人件費相当額	18,912		
施設管理運営費	20,228		
電気料	2,496		
ガス料	0		
水道料	598		
小破修繕料	2,085		
その他経費	49,177		業務分担金、賃借料ほか
施設維持管理運営費	74,585		
支出合計	93,497		

●平成 28 年度収支状況

・市としての収支

単位：千円

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料	51,667		
支出合計	51,667		

・指定管理者の収支状況

項目	支出	収入	備考
指定管理委託料		51,667	
ホール利用料		11,913	
入場料収入		13,549	
補助金		3,090	
その他収入		2,457	
収入合計		82,676	
人件費相当額	17,204		
施設管理運営費	16,462		
電気料	2,446		
ガス料	0		
水道料	519		
小破修繕料	1,080		
その他経費	48,671		業務分担金、賃借料ほか
施設維持管理運営費	69,179		
支出合計	86,383		

8. 施設のあり方に関する施設所管課の考え方

アートセンターは、文化芸術活動の発信を行う拠点として必要であると考えており、利活用を促していきたいと考えているが、ホール規模が小さいことから収支が取りづらいことが課題であると考えている。